

# 玉名市総合計画 後期基本計画進捗状況報告

(主要施策の概要に係る進捗状況報告)

平成25年10月  
玉名市役所 企画経営課

(※H26/06/30、誤謬のため一部修正)

玉名市第1次総合計画(後期基本計画)に係る主要施策の進行管理調査表

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (編) ※網掛けは、重点施策	施策種別	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間に係る進捗状況 (H24年度末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
1 便利で快適なまちづくり	1 道路交通体系の整備	1 広域交通ネットワークの整備	1	11111 玉名バイパスについては、今後、交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進していきます。	土木課	今後も交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進していく。	6. 未着手	未着手の理由	交通量調査の結果により着手の可否判断を行うため。		
			2	11121 今後も利便性の高いアクセス道路の整備に努めます。	土木課	県道・市道を含め利便性の高いアクセス道路の整備に努めていく。	4. 進行中(前半)	状況の説明	県道玉名立花線に係る用地交渉を実施した。		
				11122 県道(仮称東西道路)については、早急に県道玉名八女線まで接続できるように県との連携を強化し、整備を促進していきます。	土木課	計画延長約950mのうち約500mを供用中、残りの450mも早期完成に向け促進していく。	4. 進行中(前半)	状況の説明	未供用地の用地交渉を行なった。事業費ベースで約6割の進捗であった。		
			3	11131 利便性が高く持続可能な交通体系の構築を目指します。	企画経営課	H24年度中に、地域公共交通総合連携計画を策定する。H25年度以降は、当該計画に基づき公共交通の再編成を実施し、効率的で利便性が高い公共交通体系の構築を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	H24年度、地域公共交通総合連携計画を策定した。H25年度は、当該計画に基づき市内の2路線のバスを廃止し、より広域をカバーする交通として乗合タクシーの導入を目指す。		
			4	11141 広域幹線道路である国道や県道については、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開します。	土木課	広域幹線道路である国道や県道については、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開していく。	8. 評価不能	評価不能の理由	他の道路整備に関する施策にも複数にわたり重複するため。		
			5	11151 有明海沿岸道路(Ⅱ期)の熊本市～大牟田市間については、候補路線から「計画路線」への指定に向けた積極的な要望活動を展開します。	土木課	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の「計画路線」への指定に向け要望活動を展開する。	6. 未着手	状況の説明	H25年度の要望活動は以下の項目を重点に行う。①有明海沿岸道路(Ⅱ期)の計画路線への指定を図られること。②特に三池港IC～長洲港区間について早期整備を図られること。③Ⅱ期整備を促進するため必要な予算の確保すること。		
			2 生活道路網の整備	1	11211 『都市計画マスタープラン』を策定します。	都市計画課	計画期間(H23～H25年度)中において、都市計画区域再編後の新たな都市計画マスタープランを策定する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成24年度は策定委員会を立ち上げ、都市の課題、まちづくりの目標を掲げる「全体構想(案)」のとりまとめを実施した。最終年度の来年度については、地域別構想や重点まちづくり計画などを中心に、10月頃を目標に全体の取りまとめを行う予定。	
				2	11221 都市計画道路の整備は、平成19年度に見直した都市計画道路網の整備計画に沿って計画的、効率的に実施します。	都市計画課	現在、都市計画道路の整備については、66.14%の整備率である。残る未整備路線については、計画的・効率的に整備を進めていく。また、隣接市町を跨る路線の整備の可否について、関係市町と調整中であるため、平成25年度中に方向性を決定する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	今後の都市計画道路の未整備(33.86%)区間の整備については、必要性や財政状況等も考慮しながら計画的・効率的に実施していく。	
				3	11231 立願寺横町線は、平成24年度末の全線供用開始を目指して整備します。	都市計画課	本路線は、本市の中心市街地を形成する「玉名温泉地区」と「高瀬地区」を結び、沿線には国の合同庁舎、市民会館や新庁舎の建設予定位置などの公共施設が集積する重要な幹線道路であり、施工延長585m(外1線舎)の整備を進める。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年3月15日に開通(全線供用開始1,330m)した。	
				4	11241 平成27年度末全線供用開始を目標に市道岱明玉名線を整備します。	土木課	国の予算削減に伴い完成目標年度がH27からH30年に変更となる。関係機関とも協議を行いつつ一部工事もおこなっている。	4. 進行中(前半)	状況の説明	事業費ベースで41%の進捗であった。	
				5	11251 市道玉名駅平嶋線の整備を検討します。	都市計画課	本路線は、玉名バイパスと国道208号線の南北を結ぶ幹線道路として位置づける路線であり、平成23年度の新玉名駅の開業や玉名バイパス開通による都市環境や交通環境の変化等も踏まえ、事業の必要性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	現在、熊本県がこの計画路線に並行して、境川改修(県管理区域)を進めているため、当面は改修計画における現況市道や堤防道路の拡幅等で機能を代替できないか、土木課と連携して検討を行うこととしているため。	
				6	11261 危険性が高いJR踏切の拡幅改良については、JR九州と協議のうえ、道路改良と一体的に推進します。	土木課	現在砂天神踏切及び巖の神踏切について、JRと協議を進め拡幅改良に努める。	5. 着手	状況の説明	砂天神踏切部の拡幅設計をH25年度に実施予定である。24年度は現在砂天神踏切及び巖の神踏切についてJRと協議を進めた。	
				7	11271 生活道路網は、舗装・新設・改良、側溝改良などの計画的な整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努めます。	土木課	舗装・新設・改良、側溝改良など、計画的に生活道路網の整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	生活道路網は校区の要望等も聞き入れ、利便性の向上に努めている。	
				3 「15分構想」の推進	1	11311 市内交通のネットワークを整備し、「15分構想」を推進し、市内交通の利便性と定時性を確保に努めます。	企画経営課	市内交通の利便性と定時性を確保に資するための関連道路の整備や公共交通機関の充実に資する施策の推進に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しく、また、他の道路整備に関する施策にも複数にわたり重複するため。
					2	11321 JR鹿児島本線より南方方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上を推進します。	土木課	部分的に改良等をおこない交通アクセス機能の向上に向け事業を進める。	8. 評価不能	評価不能の理由	他の道路整備に関する施策にも複数にわたり重複するため。
				11322 岱明玉名線の整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。	土木課	国の予算削減に伴い完成目標年度がH27からH30年に変更する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	関係機関とも協議を行いつつ一部工事もおこなっている。H24年度末までは、事業費ベースで41%の進捗であった。		

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細目) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
				11323	南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながら取組を推進していきます。	土木課	関係機関の理解を得ながら取組を推進していく。	9. その他	具体的な計画や整備方法などは未定であるが、将来的な構想として、関係機関の理解を得ながらその取組を推進していく。
				11331	市道小浜繁根木線の道路幅幅や砂天神踏切の拡張を図ります。	土木課	市道小浜繁根木線の道路幅幅や砂天神踏切の拡張を図る。	5. 着手	状況の説明 本路線については、H24年度までに実施設計及び地質調査をおこない、現在、関係機関と協議中である。H25にJR踏切部拡張の実施設計を予定している。
				11332	松木地区、六田地区のその他の道路改良に努めます。	土木課	松木地区、六田地区のその他の道路改良を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 現在松木地区の側溝を含めた道路改良工事を行っている。
2	公共交通の充実	1 新玉名駅周辺の整備		12111	新玉名駅周辺の開発については、駅前広場を除く新玉名駅周辺整備構想区域(35.6ha)において、開発における諸手続きやインフラ整備などを市が支援することで民間活力による開発を誘導します。	企画経営課	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、庁内関係課と連携して開発の実現を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 商業施設2店舗については、H24年度中に完了したが、それ以外については、現在具体的な進出の動きがないため施策を進捗させることができない。
				12112	新玉名駅周辺の開発については、周囲の田園風景との調和にも配慮した景観の形成に努めます。	企画経営課	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、周辺の景観との調和に配慮するよう事業者に要請する。	8. 評価不能	評価不能の理由 既進出2事業者に関してはそれらの外壁や看板の色等で配慮がされているが、進出事業者に対する強制力もなく、またガイドライン等の目安となるべきものもないため評価できない。
				12113	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導や、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努めます。	土木課	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導に努めるとともに、も視野に入れた有効策の実施に努める。	5. 着手	状況の説明 新幹線開業2年間の駐車場形態のデータを考慮しながら有効策を今年度提案する。
		2 バス路線網の整備		12211	路線バスの運行や利用の状況、地域住民の意向調査など地域交通の実態把握に努めます。	企画経営課	H24年度中に、路線バスを含む市内公共交通の実態や利用状況等について、事業者や利用者へのヒアリング、アンケート調査を実施し、地域公共交通総合連携計画を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明 事業者や利用者へのヒアリング、アンケート調査を実施し、それらを基に地域公共交通総合連携計画をH24年度に策定した。
				12212	今後の人口構造や社会構造の変化なども踏まえた地域公共交通のあり方を検討します。	企画経営課	今後の公共交通のあり方を示した地域公共交通総合連携計画をH24年度に策定する。非効率なバス路線の見直し、交通空白地域の解消、わかりやすいバス路線の実現などを計画期間中(H29年度まで)に行う。	1. 達成(完了)	状況の説明 H24年度に今後の公共交通のあり方を示した地域公共交通総合連携計画を策定した。
				12213	交通空白地域の解消を図りながら、財政負担にも配慮した持続可能な交通体系の構築を目指します。	企画経営課	H24年度に地域公共交通総合連携計画を策定し、同計画に基づき交通空白地域の解消を図る。	5. 着手	状況の説明 H24年度に地域公共交通総合連携計画を策定し、同計画に基づき滑石、大浜、大野、高道、鍋、横島校区の交通空白地域の解消に向けた取組に着手した。
				12221	阿蘇方面につながる広域観光バスの運行については、実現に向けて進捗事業者に対する働きかけを実施します。	企画経営課	事業者の自主運行を基本として、広域観光バスが実現するよう関係機関に対して働きかけを実施する。	6. 未着手の理由	未着手の理由 県北における観光地への入りこみ状況等の実態を把握した段階であり、今後、事業者に働きかける前に諸条件を整理しなければならない。
				12231	バス路線網の整備に当たっては、危険箇所や道路幅員などの調査を実施し、走行性と安全性の確保を図ります。	企画経営課	バス事業者等と連携の上、バス路線上の危険箇所を調査し、関係機関に対して安全確保に向けた措置を働きかける。	6. 未着手の理由	未着手の理由 H24年度に策定した地域公共交通総合連携計画において、「バス停環境の充実」を短期的に優先して取り組む事業に位置つけた段階であり、具体的な事業展開はこれからである。
3	魅力ある住環境の整備	1 定住化などの推進		13111	優良な民間企業の住宅開発の誘導に努めます。	企画経営課	民間の住宅開発が行われるよう、行政としてできることは何かを検討する。	5. 着手	状況の説明 H23年度に定住促進補助金を整備し、住宅の取得を促進することで、側面から住宅の開発を促している。
				13121	『玉名市スマイル構想』(定住化基本構想)に掲げる施策の実現に努めます。	企画経営課	関係機関との調整や働きかけ等により、構想に掲げる施策の実現を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 定住促進補助金の創設、観光PRの充実と広域化、新玉名駅における観光案内・観光イベントの実施、定住情報ポータルサイトの開設、定住相談会などが完了あるいは着手済み。
		2 公営住宅の整備		13211	公営住宅の建設や老朽化が著しい既設公営住宅などの改修は、『玉名市公営住宅等長寿命化計画』に沿って計画的に実施します。	住宅課	玉名市公営住宅等長寿命化計画に沿って実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 H23年度 糠峯団地・天満町団地・柘木団地外壁改修工事、三ツ川団地浄化槽改修工事 H24年度 深田団地・新立石団地・河崎団地・八竜団地外壁改修工事、糠峯団地・四本木団地・山田団地・栗崎団地・陳内団地共用階段手摺設置工事、以上の工事をしゅんじゅうした。
4	公園・緑地等の整備	1 公園・緑地の整備		14111	現在(H23年度の緑地水準を維持し、適切な公園管理を実施します。	都市計画課	現在の緑地水準を維持し、公園、緑地を憩いの場として、安全、安心に利用できるように日常の管理や遊具施設の修繕などを行なう。	3. 進行中(後半)	状況の説明 蛇ヶ谷公園、桃田運動公園以外の都市公園内を除草、剪定、消毒等の管理や遊具の点検修理を行っている。
				14121	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動や災害時の広域避難場所として位置づけ計画的な整備を図ります。	都市計画課	地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動ができるように公園管理を行なう。	3. 進行中(後半)	状況の説明 蛇ヶ谷公園、桃田運動公園は、公園内の除草、清掃、トイレ清掃、樹木の剪定消毒をシルバー人材センターに管理委託している。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策区分 (種別)	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
									項目	内容
1	2 「花の都 玉名」づく りの推進	2	1	14131	老朽化した公園は再整備を図ります。	都市計 画課	平成21年度から25年度までの5ヶ年計画で市民の憩いの場となる公園を安全・安心に利用できる公園を目標に改築更新を行なう。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	H21年度に蛇ヶ谷公園他4公園を整備、H23年度に岱明中央公園テニスコート他を整備、H24年度に滑石河川緑地、他2公園を整備した。桃田運動公園他5公園のH24年度事業を本年度に繰越し実施している。
				14132	地域住民による公園管理も支援します。	都市計 画課	広く市民の方に利用されている都市公園を地域住民による環境美化を委託し公園管理を支援する。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	市内54箇所の都市公園のうち33箇所を25の地元区長に委託、管理している。
				14211	玉名21の星事業を推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。 (※花づくりによるまちづくりに限る)	企画経 営課	花づくりを実施するまちづくり委員会に対して、可能な支援を実施する。21の星事業が終了するH26年度以降について、地域づくり団体を支援する新たな施策を検討する。	8. 評価不 能	評価不 能の理 由	(21の星事業の前身である「一区一輝運動」においては花づくりが必須事項であったが)21の星事業はまちづくり委員会が自ら企画した事業に行政が支援する制度であることから、花づくりを企画した委員会が支援するが花づくりをしない委員会に強制はできない。
				14212	小・中学校や各種団体による「花の都玉名」づくりを推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。	都市計 画課	「花の都 玉名」を目指し各校区まちづくり委員会や小・中学校を中心とした花づくり活動を支援する。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	築山校区まちづくり委員会他9団体への材料支援、17の小中学校、7の保育所への花苗配布、また、蛇ヶ谷公園などの公共施設に花苗の移植を行なった。
	5 まちなみ の景観形 成	1	1	15111	中心市街地においては、建物や商業施設の形態、色彩、看板などについて、景観形成基準の設定も視野に入れ、調和のとれた統一感のあるまちなみ景観の形成を推進します。	都市計 画課	都市景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	5. 着手	状況の 説明	平成24年度は、県内の景観条例等を制定している市町等の情報収集及び景観行政団体への移行及び景観条例等の制定までの流れについて検討を行った。今後、市が景観条例等を制定する行為は、市民等に規制をかける行為になるので、平成25年度は、庁内検討組織を立ち上げ、その必要性について十分に検討するとともに、市民アンケートを実施し、意向調査等を行なう予定である。
				15211	菊池川をはじめとする河川や山並みの景観形成は、自然の風景を十分配慮した修景整備を実施し、都市の潤い空間として自然景観が阻害されないよう保全を図ります。	都市計 画課	自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	5. 着手	状況の 説明	施策No.15311に同じ。
				15311	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進します。	都市計 画課	都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	5. 着手	状況の 説明	施策No.15311に同じ。
	3 「美しい景 観都市 玉名」の 実現	1	1	15312	地域の景観は地域で育てるという市民意識の高揚に努め、「美しい景観都市玉名」の実現を目指す。	都市計 画課	施策No.15311に同じ。	5. 着手	状況の 説明	施策No.15311に同じ。
				15311	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進します。	都市計 画課	都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	5. 着手	状況の 説明	施策No.15311に同じ。
	6 情報・通信 基盤の整 備	1	1	16111	市光ファイバー網幹線の電線共同溝への入溝などによる災害や事故に備えます。	情報管 理課	国土交通省施工の電線共同溝工事(通信分)がH24.2月末にて完了し、本市移設をH24.4.28～4.30にてL=約1,575mの共同溝への敷設、電柱へ添架している光ケーブル撤去を行う。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	電線共同溝入線工事 L=1,575m(しゅん工H24.7.26) 立願寺横町線情報管路設工事L=100m(しゅん工H25.2.22)
16112				万が一の場合にも業務への影響がないようバックアップ回線を設置します。	情報管 理課	本市ネットワークについては、自設光ファイバケーブルにより本庁・各支所・外局施設を接続している。災害・事故等により光ファイバの断線により市民サービス及び業務停止が無いよう、通信事業者が提供している通信網をバックアップ回線として利用することにより業務継続と目的とし整備を行う。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	通信事業者が提供するサービスの切替をH25.3月に行い、同等のサービスで費用の削減を図る。	
16121				外部ネットワークとの接続に際し、ファイアウォールなどによる不正侵入などの防止を図ります。	情報管 理課	外部(インターネット)から内部(市ネットワーク)への不正侵入等による盗み見・改ざん・破壊を防止することにより、内部ネットワークの安全を維持する。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	現運用機器の保守期限が、H25.10月までとなっており、安定運用を目指し機器入替を行う。	
16122				職員への市セキュリティポリシーの周知・徹底を実施し情報漏えいなどインシデント防止を図ります。	情報管 理課	情報セキュリティ(取巻く脅威や対策)は常に変化している。玉名市セキュリティ委員会を開催し、職員研修及び情報セキュリティ監査の計画、実施、報告を行い、PDCAサイクルによる強固なセキュリティ対策に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	H24年度は、セキュリティ委員会(年1回)、セキュリティ監査部会(年2回)、情報化推進部会(年1回)を開催するとともに、自治体セキュリティニュースの掲示(不定期)、情報セキュリティ対策に努めた。	
16131				サーバ機器保守期限となる平成27年度に予定するシステムの更新のため、平成25年度を機に再評価を実施し更新に備えます。	情報管 理課	サーバ機器保守期限となる平成27年度システム更新予定に向けて、既存システムの再評価をおこない、次期システムを検討し平成27年度までに次期システム、サーバ機器導入を図る。	5. 着手	状況の 説明	平成24年度は、次期システム導入にあたり、クラウド化等既存システムの改善、コスト削減等について検討を行った。	
16132				アプリケーションソフトなどを充実(各種行政システムの導入)することにより、情報サービスの充実を図ります。	情報管 理課	各電算システムのバックアップ、改修、業者作業管理、障害対応、原課からの電算システム使用に関する問い合わせ対応、必要な資料の作成、及び、システム権限の付与等をおこない情報サービスの充実を図る。	5. 着手	状況の 説明	平成24年度は、電算システムの保守管理をおこないシステム、サーバ機器の定期的な保守点検実施し、障害発生時の早急な対応や原課からの質疑事項、資料作成等の対応をおこない情報サービスの充実を図った。	
2 人と自然 にやさし い環境の まちづくり				1 自然環境 の保全	1	21111	県と連携した地下水採取量調査や地下水定期モニタリング水質検査を実施します。	環境整 備課	県が実施する地下水採取量調査や地下水質検査に係る対象者への文書発送、連絡調整、調査票の回収等を毎年度行う。	5. 着手
	21112	地下水の汚染防止と保全対策を推進します。	環境整 備課			熊本県有明保健所が毎年行われる、市内17箇所の地下水質調査に協力する。	5. 着手	状況の 説明	熊本県有明保健所と連携し、市内17箇所の地下水質調査を行った。	

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策種別 (種別)	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 未現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)		
									項目	内容	
2 河川環境の 保全	1 河川環境の 保全	1	1	21211	菊池川流域同盟の活動については、水質調査、清掃事業、水援隊事業のほか、「菊池川の日」の制定意義を内外にアピールします。	環境整備課	毎年、「菊池川の日」事業等の河川環境啓発を行い、菊池川流域同盟加入9市町においていっせに行う河川水質検査において水質の改善を目指す。	5. 着手	状況の説明	水質検査等を実施して、河川の水質監視を行うとともに、「菊池川の日」事業の実施により、「菊池川の日」制定意義の普及啓発を行った。	
				21212	廃油石けん作りコンテストや子どもへの環境学習を取り入れたイベントなどを積極的に実施し、市民の水質浄化意識の向上に努めていきます。	環境整備課	菊池川流域同盟の「菊池川の日」事業において積極的に廃油石けんや河川水質に関する展示を行う。	5. 着手	状況の説明	「菊池川の日」事業において廃油石けんの展示や配布等を行い意識の向上に努めている。	
				21221	菊池川流域同盟の環境保全活動を核とする「環境の先進地、環境立都 玉名」をインターネットなどメディアを通じ、全国へ情報発信します。	環境整備課	広報やインターネット等のメディアを通じ情報を発信していく。今後提供する情報の種類を増加させる。	5. 着手	状況の説明	インターネットを通じてホテル情報等の発信を行っている。	
				21231	市民へ生活排水路の定期的な清掃を促し浄化機能や美観を維持保全することで、河川の環境保全を推進します。	環境整備課	排水路に限らず区役等のボランティア活動にて清掃活動をする場合には、ボランティア袋の提供などを行い環境保全に役立てる。	5. 着手	状況の説明	現在ボランティア袋の提供や環境啓発の看板の提供を行っている。また、河川の環境については定期的な水質検査もしている。	
	3 森林環境の 保全	1	1	21311	(森林は、) 景観保全、地下水かん養などの面から開発との調和を図りながら自然環境の保全に努めます。	農林水産政策課	水源かん養、生物多様性保全など重視すべき森林の機能に応じた森林整備を図るため、玉名市森林整備計画に基づき保安林の指定やその適切な管理により自然環境の保全を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	県と連携し自然環境を保全すべき地域において山林の保安林指定を実施している。更に山地災害防止のための治山事業においても景観の維持に配慮した施設整備を行っている。	
				4 「環境の先進地、環境立都 玉名」の 推進	1	21411	様々な公害に対する情報把握に努めるとともに、市民の不安を解消し、苦情などの処理には迅速に対応します。	環境整備課	公害苦情に対し迅速に対応し、市民不安の解消に努める。	5. 着手	状況の説明
	21421	環境の保全や創造について基本理念を定めます。	環境整備課	平成26年4月1日施行を目標に、「環境基本条例(仮称)」を制定する。		5. 着手	状況の説明	環境基本条例(仮称)と連携した様々な施策を計画的に進めえるための「環境基本計画」の策定に着手した。			
	21422	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるための環境基本条例(仮称)の制定に努めます。	環境整備課	玉名市環境美化に関する条例を制定する。		5. 着手	状況の説明	「玉名市環境美化に関する条例」を制定し、H24.6.1施行した。			
	2 環境保全 への意識 啓発	1 環境保全 活動の意 識啓発の 推進	1	1	22111	地域や学校への環境学習の出席講座を実施します。	環境整備課	環境学習講座を年1回以上行う。	5. 着手	状況の説明	市内の小中学生が参加する「川の環境調査」を8月に実施した。
					22112	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上に努めます。	環境整備課	ホームページ等で啓発を行う。	5. 着手	状況の説明	市ホームページでマイバッグ利用に関する啓発を行った。
					22121	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進します。	環境整備課	環境学習に有用な情報の提供及び環境学習を実施する。	6. 未着手の理由	未着手の理由	平成24年度は環境学習は実施していない。平成25年度に「環境学習事業」の実施を検討している。
					22131	ISO14001やエコアクション21などの企業の環境活動に対する意識の啓発を推進します。	環境整備課	平成25年度中にホームページ等で啓発を行う。	6. 未着手の理由	未着手の理由	H24年度は啓発活動を行っていない。H25年度から実施する。
2 環境保全 活動の支 援		1	1	22211	ホームページなど情報サービス機能を活用し、市民グループやNPOなどの環境保全推進団体の活動実績を紹介しします。	環境整備課	随時、市広報、ホームページ等で紹介を行う。	5. 着手	状況の説明	市の広報紙に団体の活動状況を掲載した。	
				22212	団体の新規結成や既存団体の活動を支援します。	環境整備課	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	5. 着手	状況の説明	エコの環たまなへ補助金を交付し活動の支援を行った。	
				22213	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう支援します。	環境整備課	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	5. 着手	状況の説明	エコの環たまなへ補助金を交付し活動の支援を行うとともに、市が事務局を勤めている団体の事務については、移管作業を進めている。	
				22221	エコ活動を行う事業者や市民団体などへの支援を継続します。	環境整備課	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	5. 着手	状況の説明	たまなマイ・バッグ推進連絡協議会に協力し、マイバッグ利用啓発を行った。また、エコの環たまなへ補助金を交付し活動の支援を行った。	

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 未現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
				22222	環境整備課	定期的に広報紙等で(エコ活動を行う事業者や市民団体などの)活動状況を広く周知し、エコ活動への関心、参画の拡大に努めます。	6. 未着手	未着手の理由	H24年度は広報紙掲載等による周知を行っていない。平成25年度から実施する。
	3 新エネルギーの導入	1 新エネルギー導入の推進		23111	環境整備課	公共事業関連での新エネルギー導入は、関係課と連携し、環境に配慮した機材や施工方法を用いるよう意識啓発に努めます。	5. 着手	状況の説明	現在各関係機関より情報提供があった場合に各課に情報を提供している。
				23121	環境整備課	住宅用の太陽光発電機設置に対する支援を設置世帯数で年間200軒前後の純増を目標として引き続き実施します。	5. 着手	状況の説明	平成24年度は216件の補助金を支出し、目標件数を補助した。
		2 省エネルギーの推進		23211	管財課	合併後、市長車をはじめ3台のハイブリッド自動車を導入し、現在も利用中である。今後の全体的な公用車の管理について、平成25年度中を目処に公用車適正配置計画(仮称)を策定し、適正な台数の確保と管理を進め、買い替えの際にはハイブリッド自動車などのエコカー導入を検討する。	5. 着手	状況の説明	H24年度中は、公用車の買い替え予定がなかった。H24年度末現在の導入実績は、既存のハイブリッド自動車の3台。
	4 上水道・下水道の整備促進	1 上水道などの整備		24111	水道課	上水道事業は、年次整備計画に基づき未普及地域の解消、老朽化した施設や配水管の更新を計画的に推進します。	5. 着手	状況の説明	未普及地域であった八嘉東・三ツ川地区は平成23年度に整備完了。雲雀丘地区においては、平成23・24年度に配水管(施工延長L=1,990.4m)の布設替を実施した。
				24112	水道課	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指す。	5. 着手	状況の説明	現在、運転管理・維持管理は民間業者に委託している。
				24121	水道課	配水池やポンプ室などの基幹構造物や管路の耐震補強や更新を進めます。	5. 着手	状況の説明	管路については、平成21年度より耐震管である配水管ポリエチレン管を採用している。また基幹構造物については、老朽化した施設もあるため、財政状況等を考慮し、早い時期に耐震補強計画を策定する。
				24122	水道課	災害時の応急給水拠点を整備するための『拠点設置計画』などの策定に努めます。	7. 計画中止	計画中止の理由	各主要施設の改良事業に併せて拠点整備を行うため、『拠点設置計画』の策定は行わない。
				24131	水道課	簡易水道事業は、配水管の更新時期も迎えているため、統合計画書に基づき施設や配水管の更新を推進します。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成23・24年度において主要な送配水管(施工延長 L=3,806.6m)の整備を実施した。
		2 下水道などの整備		24211	下水道課	公共下水道事業は、今後も更に計画区域内の認可拡張を実施し、早期完了を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成24年度は既認可区域の整備を行った。また、認可拡張し、処理区域内人口が33,800人となり、今後も計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。
				24212	下水道課	公共下水道事業は、要望の高い未整備地区の新規着手に努めます。	6. 未着手	未着手の理由	現時点では既認可区域内の未整備地区を重点的に整備しており、未認可地区の新規着手は行っていない。
				24221	下水道課	玉名市浄化センターの機械や電気設備の改築を進めることにより施設の長寿命化を図ります。	3. 進行中(後半)	状況の説明	H23に計画策定H24はH25からH26の実施設計を行った
				24222	下水道課	玉名市浄化センターの経営においては補助制度を活用し建設投資や維持管理の一層の効率化に努めます。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成24年度は、平成25・26年度長寿命化工事の実施設計を行った。
				24231	下水道課	菊池川左岸(豊水、伊倉、八嘉の一部)については、地域の意見などを踏まえ整備手法など検討を引き続き実施します。	4. 進行中(前半)	状況の説明	菊池川左岸(豊水、伊倉、八嘉の一部)については、地域の実情に基づき、玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行った。
				24241	下水道課	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を引き続き推進します。	5. 着手	状況の説明	下水道認可取得のため、測量業務委託、検討業務委託を行った。
				24251	下水道課	立願寺の雨水対策は、今後の整備手法について、慎重に検証し対応します。	4. 進行中(前半)	状況の説明	立願寺の雨水対策は、市計画道路の完成とともに雨水幹線が整備され、浸水区域内の排水機能が高まったため、現在のところ大きな被害は発生しておらず、整備手法について今後も慎重に検証し対応する。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、 重点施策	施策 番号	施策 名称	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
									項目	内容
			0	24261	浄化槽の設置者に対しての設置費補助金の交付や、市町村設置型の整備について、今後も積極的に推進するための啓発活動に努めます。	下水道課	住宅に個人設置型浄化槽を設置する場合に人槽に応じて補助金を交付する。特にくみ取りや単独処理浄化槽を利用している家庭に合併浄化槽への転換を促す。	5. 着手	状況の説明 個人設置型浄化槽については98基、市町村設置型浄化槽は15基設置した。	
			0	24262	「水のきれいな都 玉名」の実現を目指します。(※浄化槽の設置以外施策によるもの)	下水道課	公共下水道、農業集落排水、浄化槽の各事業を用いて汚水処理の整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 平成24年度に生活排水処理整備構想を見直し、平成25年度に変更を目指す。	
			7	24271	横島地区の農業集落排水事業は、今後は、経年劣化による機能低下が懸念される汚水処理場などの改修計画を立てて機能の強化を実施します。	下水道課	横島地区処理場の機能強化及び各住宅に設置してある真空弁システムの更新を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 24年度に実施計画を、25年度に真空弁の更新、26年度に処理場の機能強化を実施する。	
			0	24281	天水地区の汚水処理対策は、今後、地区住民が求める下水道施設による汚水処理を含め、最も適切な汚水処理の整備手法の検討を図り、その実現に努めます。	下水道課	天水地区(農業集落排水処理区域以外)については、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見などを踏まえ整備手法などを検討する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 天水地区(農業集落排水処理区域以外)については、地域の意見などを踏まえ見直しを行った結果、今後、市町村設置型浄化槽による整備を推進することとした。	
5	安心安全 なまちづくり	1	1	25111	災害時における連絡体制や役割分担などについて、防災関係機関、民間事業者と事前に調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図ります。	総務課	災害時における救援物資の提供と応急対策活動等の協定調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図る。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 災害物資協定業者や災害復旧応急対策に伴う建設業協会やライフラインの復旧活動を行う電気工業協同組合及び管工事業協同組合との災害協定を結んでいる。	
			2	25121	危機管理意識の啓発は、市、防災関係機関、自主防災組織などの連携を強化し、市民の防災意識の高揚を図ります。	総務課	地域住民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯意識の下に、組織的な防災活動を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成25年度より、実践で役立つ訓練や広報活動を行う災害対応力を養う自主防災組織の活動力向上を支援する。	
			3	25131	常備消防については、災害態様の複雑多様化に対応するため、救助に関する教育訓練体制の充実や救助業務実施体制の充実・強化を促進していきます。	総務課	地域住民が安心して暮らせるように、住民の生命、身体、財産を火災等から保護し、その被害を軽減を図る。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 常備消防の充実・強化の促進のため、有明広域行政事務組合に消防費の負担金。	
				25132	非常備消防は、団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討するとともに、活動に必要な資機材、装備、施設などを充実し、消防団活動の充実を図ります。	総務課	消防団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 H24年度までに消防団再編のための検討・協議を実施した。平成25年度より、40分団から10分団に再編し、OB消防団【支援団員】制度を実施する。	
			4	25141	平時からの防災意識の高揚を図ります。	総務課	日ごろから地震津波を想定した防災対策の目安となるよう、また、自分の住む地域の標高を意識できるように心がける。	5. 着手	状況の説明 公共施設約50ヶ所に標高を記した避難所プレートを設置した。	
				25142	防災訓練などに市民が参加しやすい工夫を凝らし、地域の防災力の一層の向上を図ります。	総務課	市民、関係機関、玉名市が一体となって実践的な防災訓練を実施する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 地震津波を想定した防災訓練を岱明地区の銅小学校校区・高道小学校校区で実施した。	
				25143	自主防災組織については、更なる組織率の向上に努めていきます。	総務課	地域の防災力強化のため、さらに自主防災組織の結成促進・活動力向上に取り組み。	4. 進行中 (前半)	未着手の理由 平成25年度より自主防災組織育成事業補助金を制定する。	
			0	25151	自然災害、危険物災害などの発生に備えた防災行政無線は、各支所の機器が異なるため、その統合・デジタル化を図ります。	総務課	将来、玉名、岱明、横島、天水の4つの親局を1つに統合し、アナログから完全デジタル化を図る。	6. 未着手の理由	未着手の理由 平成29年度から親局の統合及び完全デジタル化を図る。	
		2	1	25211	水害の多発地帯では河川の改修を推進します。	土木課	水害の多発地帯では、災害復旧工事等により河川の改修を推進する。	5. 着手	状況の説明 災害復旧工事等を行ない改修を進めている。	
			2	25221	県管理区間の境川については、境川改修事業促進期会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	土木課	県管理区間の境川は、境川改修事業促進期会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	5. 着手	状況の説明 県管理区間の境川の改修については、完成目標をH35年として用地交渉を進めている。	
			3	25222	境川については、市管理区間も下流とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進します。	土木課	市管理区間の境川は、下流域とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進する。	5. 着手	状況の説明 市管理の境川改修については、下流の県管理との調整を行いながら進めている。現在予備設計をおこなったところである。	
			3	25231	唐人川、尾田川については、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	土木課	唐人川、尾田川は、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期会の活動を通し、河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	5. 着手	状況の説明 唐人川 尾田川の河川改修は完成目標年度をH34年として用地交渉を進めている。	

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策区分 (細節)	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)				
									項目	内容			
	交通安全 対策の強化	3	1	25311	交通安全対策は、主要道路や通学路の歩道整備を引き続き推進します。	土木課	歩道整備は適宜、部分的な改良等を実施する。	8. 評価不能	状況の説明	H24年度は、青木小位線歩道新設工事を実施した。			
				25321	「高齢者の交通安全の確保」「自転車の安全利用の推進」「シートベルトの全席着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」「飲酒運転の根絶」に重点をおいた交通安全意識の啓発や交通安全教室を実施します。	生活安全課	第9次玉名市交通安全計画(平成23年度～27年度)において、平成27年までに24時間交通事故死者数を2人以下、年間の交通事故負傷者数を420人以下とする目標を設定している。	4. 進行中(前半)	状況の説明	玉名地区交通安全協会をはじめとする交通安全団体と連携し、交通安全教室やキャンペーン等を実施するなど4つの重点課題に則した施策を適宜実施した。			
			4	1	25411	行政区、学校、家庭、職場への広報活動を充実させ、地域防犯組織の育成を図ります。	生活安全課	警察をはじめとする関係機関からの情報を防犯活動に取り組みボランティア団体等に随時提供する。また、広報紙に掲載し市民の防犯意識の高揚を図り、防犯組織の育成につなげる。	9. その他	状況の説明	防犯関係団体には、防犯パトロール手帳を配布するとともに随時情報提供を実施した。		
					25412	防犯対策の強化に努めます。(※地域防犯組織の育成を除く。)	生活安全課	青パト巡回未実施のPTAや補導員等の防犯協力団体に青パトの活用を働きかけ、年間を通じた青パトによる巡回強化を図る。	9. その他	状況の説明	玉名市PTA連絡協議会を青色パトロール協力団体として委嘱し、青パトによる校区巡回を実施した。		
		2	2	25421	学校周辺をはじめとする危険箇所の把握を関係団体と連携し実施します。	生活安全課	玉名警察署、学校、関係課と通学路等の安全点検を実施しており、これらの関係機関と連携を取りながら危険箇所の解消に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成24年8月に校区ごとに関係者を交えて現場立会いのもと通学路等の安全点検を実施し、対策と解消に取り組んだ。			
				25422	(防犯施設整備の)対策が必要な場所には、行政区などの管理団体に防犯灯を設置するための補助制度の活用を働きかけるなどして、防犯施設の整備を図ります。	生活安全課	平成23年度からLED照明を補助の対象に追加しており、取替えの負担軽減にもなることから、その特徴についても説明していく。	9. その他	状況の説明	LED照明については、防犯灯補助金関係書類にも記載するとともに、申請書受付の際にも、その特徴についても説明しており、徐々に普及しつつある。			
		8	ごみ・リサイクル 処理と再資源化の 推進	1	1	26111	更なるごみ分別の徹底を図ります。	環境整備課	ごみの分別については、現在違反ごみも減少してきている。しかしながら、焼却場、最終処分場の延命化等も含め市民への更なる啓発を行っていく。	2. 概ね達成	状況の説明	平成23年度中に作成した家庭ごみの分け方・出し方改訂版の冊子を市内全世帯に平成24年度に配布した。	
						26112	資源ごみの回収に特に有効なコンテナ方式は、モデル地区の拡大に努めます。	環境整備課	資源ごみの回収には、コンテナ回収が有効であるためモデル地区の更なる拡大に努める。	6. 未着手	未着手の理由	資源物の価格(特に紙類)が下落しており、地区、団体ともに採算が合わない状況となっているため。	
				2	1	26211	更なる3R(ごみの抑制:Reduce、再利用:Reuse、再資源化:Recycle)の取組を推進します。	環境整備課	更なる3Rの推進に努める。また「使用済小型電子機器の再資源化の促進に関する法律」が施行されたことによる回収方法等の検討を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	3Rの推進については、継続して行っているが、新しく施行された小型家電リサイクル法について、関係各団体と協議の上、回収方法等の検討を行っていく。	
			26212			(循環型社会システムの構築を)広報紙や市のホームページなどで啓発を実施します。	環境整備課	ごみの分別や循環型社会システムの構築を図るため、広報紙や市のHP、啓発チラシ等により啓発を続けていく。	2. 概ね達成	状況の説明	ごみカレンダーのHP掲載や紙分別のチラシ作成などを行った。また、回収した資源物等の再資源化の流れをごみ処理計画に掲載し各家庭に配布した。		
			3	不法投棄 の監視強化	1	26211	家庭ごみをはじめ産業廃棄物などの不法投棄は、関係機関との連携パトロールの強化などを図りその撲滅に努めます。	環境整備課	一般廃棄物、産業廃棄物などの不法投棄に対して、県、委託業者等と連携パトロール強化及び排出者への指導の強化に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	通報やパトロール中に見かけた不法投棄物に対し、排出者の調査や指導、また、不法投棄物の適正な処理を行った。	
							3	人をはぐくむ まちづくり	1	学校教育 の充実	1	就学前教育 の充実	1
31112	中学校区における幼・保・小・中の連携と交流を更に深めます。	教育総務課	中学校区単位で小中一貫の視点に立った教育活動(小中一貫教育)を展開していくことで、小・中の連携をさらに深めていくと同時に、幼・保との連携、交流も推進していく。	5. 着手	状況の説明	小中一貫教育推進計画を策定し、それに基づいて取組を進めている。また、幼・保等、小・中連携カリキュラムを全部の小中学校で策定し、実践している。							
2	2	31121	読書の重要性を再認識し、想像力を豊かにし、表現力を高めるなど効果的な読書活動を推進します。	教育総務課	全小中学校の学校図書館図書標準達成率75%以上を目指す。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成24年度調査(平成23年度末実績)によると、達成率75%以上の小学校は、52.4%、中学校は、33.3%である。					
		31122	就学前から家庭や地域との連携のもと、読み聞かせなど読書に親しむ場を工夫します。	教育総務課	図書室補助員をすべての小中学校に配置し、児童生徒の読書活動を支援する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	図書室補助員は配置しているが、任用は18名であり、9校が兼任の学校である。					
2	生きる力 を身につける 教育の 推進	1	31211	学校は、人間形成の基礎づくりの場であることから、「みんなで助け合い、楽しく基礎・基本を学ぶ」ことを前提とし、さらに、個性を伸ばし、生きる力をはぐくむことを目指します。	教育総務課	いじめや不登校、並びに体罰等の発生防止に努め、教師一人一人の授業力アップと児童生徒の学習意欲を高め、基礎基本の定着及び社会性の向上に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明			義務教育9年間を見越し、中学校区ごとの実態に合わせた共通実践事項を策定し、小中の連携を推進している。教育活動に保護者や地域の外部人材を呼び込み、色々な価値観に出会わせ自ら考える力を高めている。		



基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (番号) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			2	31212	教育総務課	学社融合の考え方をもとに、学校と地域がそれぞれの力を出し合い、将来を担う有為な児童生徒の教育活動を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	どの学校でも学校応援団の協力の下、校外での体験学習等を実施している。人々の労働の苦勞や願いを知り、体験することで自己を見つめ、さらに自己の将来につながるキャリア教育の一助となっている。
			2	31221	教育総務課	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画をそれぞれ作成し、体験学習や実践を取り入れながら、計画的・系統的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画の作成がなされた。その計画に基づき、計画的・系統的な教育活動を展開している。
				31222	教育総務課	学校ホームページを通じて、学校の教育活動の様子などを保護者や地域住民に伝え、地域に開かれた信頼される学校づくりに努めます。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	ホームページは、すべての学校で開設されているが、常時更新している学校と、定期的な更新ができていない学校がある。
			3	31231	教育総務課	一人一人の教師の授業力・生徒指導力を高め、組織としての学校力を高めるために、全ての学校への訪問を実施し、さらに要請に基づき必要に応じて指導主事を学校に派遣する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	全27校に対して、教育事務所訪問を含め教委による学校訪問を実施し、授業参観等を通して全体への指導・助言を行い、管理職からの相談に対応している。
				31232	教育総務課	各学校が児童生徒の実態を把握し、校内研修等において課題を共有し、共通実践に取り組む。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	授業の目標を明確にし、目指す状況を明らかにした上で、能動的な学習場面を設け、児童生徒が自ら考え、それを表現する等の言語活動を含めた授業の展開を工夫している。
			4	31241	教育総務課	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育を実践する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づく計画的・系統的な教育を実践している。
				31242	教育総務課	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育を実践する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づく計画的・系統的な教育を実践している。
			5	31251	教育総務課	体力・運動能力テストを実施し、成果と課題を明確にして学校体育の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	体力・運動能力テストを実施した。成果と課題を明確にして学校体育の充実を図っている。
				31252	教育総務課	すべての学校において学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成し、学校体育の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての学校において学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づき学校体育の充実を図っている。
			6	31261	教育総務課	毎年新規に2校の推進校を指定し、全校一体となって学力向上に取り組み、2年目に成果の検証のための発表会を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	毎年新規に2校の指定を行い、2年目の指定校2校で研究発表会を実施している。補助金を活用し他校で学んだものを本校に活かしたり、教材等の購入や資料づくりを通して、授業力の向上に役立っている。
				31262	教育総務課	教育活動の成果検証のための一指標とし、問題内容や問いなどを授業に活かし、基礎基本を活用する力を高め、結果をもとに課題を洗い出し授業の改善及び学習内容の定着を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	各学校とも、調査実施、結果分析、指導改善等のPDCAサイクルに沿った取組がなされ、学力向上に向けた共通実践を進めている。
			7	31271	教育総務課	各学校が、教育活動にかかる情報を保護者や地域に発信し、児童生徒の課題の共有を図り、教育の第一義的責任を有する家庭の意識を高め、協働して健全育成に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	授業参観や懇談会には是非参加してほしい家庭の出席がままならず、校外での講演会等にも教育に熱心な方しか集まらない現状があり、達成が難しい状況である。
			8	31281	教育総務課	学校の教育相談活動の機能強化を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	玉名市教育相談員を教育総務課内に1名配置し、また、適応指導教室指導員を各中学校に1名配置しているが、ともに勤務時間が短いため、学校の要望に十分に答えられていない。
			9	31291	教育総務課	平成25年3月14日に小中一貫教育推進計画を策定し、平成26年4月から市内全小中学校において小中一貫教育をスタートするため、中学校ごとに小中一貫教育に向けての体制づくり着手する。平成28年度末までに、小中一貫教育体制を構築し、エンジョイ・イングリッシュと玉名学を市内全小中学校にて実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	H253月に玉名市小中一貫教育推進計画を策定し、市民の方々に周知して頂くために広報紙に小中一貫教育推進計画概要を折り込み、啓発を図る。並行して、カリキュラムの調査・研究を行う玉名市教育研究所内、学習指導部(エンジョイ・イングリッシュ)と郷土学習部(玉名学)の一部会員の研修を開催する。
	3 学校・家庭・地域の連携	1	31311	教育総務課	教職員自身が地域のよさを再発見し、課題解決的な学習を通して教科や道徳、総合的な学習の時間などに生かしていけるよう努めます。	5. 着手	状況の説明	『玉名学』の学習カリキュラムの大枠について作成を行った。	
		2	31321	教育総務課	伝統芸能・文化の継承は、文化振興や社会教育と連携し、教育課程外などの時間を活用し、ふるさとの祭りなどを地域素材として教材化し、社会科学習などに活用します。	5. 着手	状況の説明	施策No.31311に同じ。	

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			3	31331 米作りなどの体験学習や他学級との交流学習、地域の人との交流などを積極的に実施します。	教育総務課	各学校で創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を取り入れることで、児童生徒の社会参加や自立を促していく。	2. 概ね達成	状況の説明	各学校で創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を取り入れることで、児童生徒の社会参加や自立を促している。
			4	31341 学校支援ボランティアの活用や学校評議員、学校運営協議会委員などによる学校関係者評価を進めます。	教育総務課	学校の教育活動に外部の人材を導入したり、学校の自己評価だけでなく外部からの評価を受け、得られた課題を必要に応じて学校経営方針等の改善事項に組み込み、教育活動の充実・向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	学校関係者評価は法令等に位置づけられており、全ての学校において学校の実態等に応じた評価項目が設定され、その結果や改善に向けた取組が市教委に報告されている。
			5	31351 通学路の安全点検や防犯パトロールなど、地域が一体となり交通安全・防犯体制を強化します。	教育総務課	すべての学校で通学路の安全点検を行うとともに、地域ボランティアによる防犯パトロールの組織作りを推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成24年度は、玉名市、教育委員会、県、国の関係機関が合同で小学校の通学路を点検し、危険箇所の改善を図った。
				31352 校内に防犯カメラを設置します。	教育総務課	小学校21校及び中学校6校防犯カメラを設置する。(※中学校に於いては必要に応じる。)	3. 進行中(後半)	状況の説明	小学校21校及び玉名中学校に設置が完了している。残り5中学校には未設置のため、今後必要に応じて設置を図る。
			6	31361 「あいさつ運動」などによる地域との関わりを通じて、心豊かでたくましい子どもたちをばぐむ学校教育を推進します。	教育総務課	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行っている。
	4 人権教育の充実		1	31411 一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる、「命の教育」を推進します。	教育総務課	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成し、豊かな体験活動との関連を図ることで「命の教育」を推進する。	1. 達成(完了)	状況の説明	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づき、豊かな体験活動との関連を図ることで「命の教育」を推進している。
			2	31421 同和問題を人権問題の中心に据えながら、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図ります。	教育総務課	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画の作成がなされ、計画的・系統的な教育活動が展開されている。
	5 教育環境の整備		1	31511 老朽化した校舎などの(学校施設は、)改修や改築について年次計画に基づき整備を図ります。	教育総務課	老朽化した校舎などの学校施設の改修や改築を年次計画に基づき整備する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	建築時期が昭和40～50年代に集中して建築され、築後40年後半～35年以上経過している老朽化した校舎が大半を占め、改築を含めた改修計画が必要で、莫大な予算が必要となっている。学校再編の事業計画と平行しながら新たな改修計画を行い、年次計画をもって整備を図っていく。
			2	31521 小・中学校の校舎などは耐震診断に基づき計画的に耐震補強工事を実施し、平成25年度までに耐震化を図ります。	教育総務課	すでに着手済み(H24末の耐震化率は98.9%)H25年度末完了を計画していたが、玉中武道場が未調査のためあつたため、急速H24年度に耐震診断を実施、結果耐震補強困難となり、H25実施設計、H26改築を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	国の指導で、構造体の耐震化率をH25年度中の完了を計画していたが、玉中武道場が調査から漏れていたため、現時点での耐震化率100%が未確定となっている。玉中武道場は改築を計画し、旧武道場を解体することで耐震化が完了し、耐震化率100%となることから、旧武道場の処分を急ぐ必要がある。
			3	31531 小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会を設置します。	教育総務課	平成23年度中に6回の玉名市学校規模適正化審議会を開催し、H23.12.11に玉名市学校規模適正化建議を受け、H24.3.14に玉名市学校規模・配置適正化基本計画(素案)を決定する。望まれる学校規模基準小学校「2学級～3学級」、中学校「3学級以上」を決定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	H24.6月に市内6中学校ごとに玉名市学校規模・配置適正化基本計画素案説明会やパブリックコメントを実施し、H24.7月には天水中校区3小学校ごとに玉名市学校規模・配置適正化基本計画素案意見交換会を開き、意見の集約を図った。これを受け、H25.10月に基本計画を決定した。
				31532 (小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会)で検討された建議を受けて、学校規模や学校配置についての基本方針を策定し、その計画を推進します。	教育総務課	全市内6中学校において基本計画(素案)説明会を実施し、同時にパブリックコメントを実施する。天水中校区3小学校区において、基本計画(素案)意見交換会を実施し、H24.10.11に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を決定する。最初に取り組む玉中校区において、実施計画説明会を実施し、H25.2.18に新しい学校づくり委員会(部会)を発足させ、計画を推進している。H28年度末までには、玉中校区を完了させ、H27年度からは天水中校区を検討に入り、学校再編を軌道に乗せる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	H25.3月に玉名市小中一貫教育推進計画を策定し、市民の方々に周知して頂くために広報紙に小中一貫教育推進計画概要を折り込み、啓発を図る。並行して、カリキュラムの調査・研究を行う玉名市教育研究所内、学習指導部(エンジョイ・イングリッシュ)と郷土学習部(玉名学)の一部会員の研修を開催する。
	2 社会教育の充実	1 生涯学習の推進	1	32111 4公民館(玉名市中央・岱明町・横島町・天水町)は、連携を図り、地域の実情に合わせた各種公民館講座事業を拡充します。	生涯学習課	市民を対象に生涯を楽しみ、充実させるため地域の実情にあった学習を提供し、生活の質の向上に役立てるとともに地域社会への参加を促進し連携意識の強化を図る。また、地域のニーズに応じた講座内容により各公民館で継続的に実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明	中央15、岱明9、横島・天水各4講座、計32講座を開催した。また、その成果を「生涯学習フェスティバル」で発表した。講座によっては一部マンネリ化している部分もあり、市民の意見を聞きニーズに合った講座を工夫し今後検討していく。
				32112 4公民館(玉名市中央・岱明町・横島町・天水町)は、誰もが参加できる自主活動の支援に努め、生涯学習機会の充実を図ります。	生涯学習課	市民の自主的な生涯学習活動の支援や自主団体の育成を図り、自ら実践する心と活動を育む生涯学習を推進していく。また、各年齢・性別に応じた工夫のある内容で講座・研修会などを継続して実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明	高齢者向けに健康と介護・防犯・人権・郷土史などの研修会を実施している。また、自主で活動している団体に支援をしながら学習機会を提供し成果発表の場を協賛して実施している。
			2	32121 公民館職員の研修体制を強化し、地域に根ざした公民館活動を振興します。	生涯学習課	地域住民が相互協力により、文化・スポーツ活動や世代間の交流を図るよう、また、生涯学習の場として公民館が安心して利用できるよう継続的な振興を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	九州及び県公民館研究会等に参加し、先進地事例などを参考に公民館事業を推進する。
			3	32131 各支館活動の充実が不可欠であることから、それぞれの支館が個性や独自性を生かした計画づくりを実施します。	生涯学習課	地域社会の親睦と融和を図り、相互理解と地域連帯感を高め、コミュニケーションを深めることを最大の目的であり、継続的なサポートしていく。	1. 達成(完了)	状況の説明	21支館に対し委託料を支出し、各支館において文化交流の催事やスポーツ大会を自主的に開催し地域内において健康増進や交流に努めている。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (番号) ※網掛けは、重点施策	施策種別 (番号)	施策施設	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
									項目	内容
			4	32141	まちづくり団体も地域の実情に応じた個性的な活動を展開している団体のネットワークづくりを実施します。	生涯学習課	長期的、継続的に、ネットワークづくりを進めていく。	8. 評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しい。
			6	32151	地域づくりが持続的に発展(に資するため)地域の担い手の育成を積極的に推進します。	生涯学習課	多方面に亘る活動機会、情報収集をもとに、人材確保に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しい。
			6	32161	本市の図書館と図書室は、相互の情報ネットワーク化により利用者の利便性の確保を図ります。	生涯学習課	利用者からの要望によりインターネット予約を9月より開始予定。	3. 進行中(後半)	状況の説明	システムをクラウド化し、ラベルの張替等を行うことにより、H25年9月よりインターネット予約が可能になる。
			7	32171	図書館の蔵書数の充実に努めます。	生涯学習課	蔵書内容の見直しを図り、市民のニーズ、各図書館のニーズにあわせた選書を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	蔵書内容の見直しを図り、市民のニーズ、各図書館のニーズにあわせた選書を行う。また、時期、季節に合わせた特設コーナーを設置し興味関心を持ってもらう工夫を行う。
			7	32172	年齢層に沿った様々なイベントやコンクールなどを地域や学校教育と連携しながら実施し、市民の読書意欲の向上を図ります。	生涯学習課	毎年行う読書活動推進行事は年々参加増である。減少した行事については、問題点の割出を図り検討する。	2. 概ね達成	状況の説明	毎年行う読書活動推進行事は年々参加増である。減少した読書感想文コンクールについては、問題点(募集期間の見直し、審査会の日取り等)を検討し、参加増を図る。平成25年度から実施。
			8	32181	「家族の“なかよし”」「ともだちの“なかよし”」「学校の“なかよし”」「となり近所の“なかよし”」「地域全体の“なかよし”」を積極的に推進します。	生涯学習課	イベントの開催を目的とするのではなく、地道に根気強くなかよしの日事業の普及、啓発を図る。	5. 着手	状況の説明	平成24年度、くまもと教育の日の玉名市開催に合わせて、イベントを行った。また、親子で考える、なかよし標語を作成した。
			9	32191	市民の学習意欲が高い講座や研修会などを積極的に実施します。	生涯学習課	趣味的講座だけではなく、教養講座を取り入れるとともに、地域に応じた課題をテーマに開講する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	中国語講座や情報化社会のための「スマートフォン講座」やライフプランセミナー、地域性を生かした「薬草料理講座」、「野菜栽培」などの講座のほか、親子で参加できる講座を開講した。
			9	32192	公民館講座や受講した講座の2年間の成果発表の場となる玉名市生涯学習フェスティバルを引き続き開催します。	生涯学習課	公民館講座の1年間の集大成として生涯学習フェスティバルを開催し、公民館講座の普及啓発を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	平成24年度の生涯学習フェスティバルは、2月16日、17日に玉名市民会館で開催した。展示部門13団体、舞台発表部門15団体が参加。また、記念講演として家庭教育の重要性から子どもの才能を伸ばすための子育てのノウハウについて学べるように辻井いづ子氏の講演を行った。
			A	321A1	地域の身近な小・中学校、高等学校、九州看護福祉大学との連携を強化し、環境、高齢者、趣味などに関する多様な学習機会を創造します。	生涯学習課	指導する方々との異なる世代間の交流を図り、豊かな人間性や、社会性を育む。	5. 着手	状況の説明	平成24年度、放課後等の支援活動事業を実施した。
	2	社会教育の推進	1	32211	子どもたちが学校や地域において、ボランティア活動や農業体験など多様な体験活動ができる体制づくりを、学校教育と連携して実施します。	生涯学習課	子どもが自ら学び、自ら考え、判断して「生きる力」をはぐくむことに努める。	5. 着手	状況の説明	平成24年度、放課後等の支援活動事業を実施した。
			2	32221	地域の高齢者と子ども達の交流を地域と連携して推進します。	生涯学習課	子どもたちが、郷土の歴史や文化に対する理解が深まる体制づくりに努める。	5. 着手	状況の説明	平成24年度、放課後等の支援活動事業を実施した。
			3	32231	(社会教育の充実を図るための)人材育成、指導者養成を積極的に実施します。	生涯学習課	社会教育団体の活動を通じて、人材育成を支援する。	5. 着手	状況の説明	平成24年度、社会教育5団体の活動支援に補助金を交付した。
			3	32232	(社会教育の充実を図るための)各種研修を支援します。	生涯学習課	研修の開催を支援し、人材育成に努める。	7. 計画中止	計画中止の理由	研修受講対象となる社会教育団体がなかったため。
			4	32241	あらゆる分野において、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」である人権教育を推進します。	生涯学習課	様々な人権問題の解決を自らの課題として考えられるような人権教育を行う。	5. 着手	状況の説明	平成24年度、玉名市人権問題講演会を開催した。
			6	32251	『玉名市家庭教育憲章』の理念に基づき、市民一人ひとりが家庭や家族、家庭教育の役割を見つめなおすことの重要性について、積極的に意識啓発を実施します。	生涯学習課	家庭教育における、意識啓発に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しい。
			6	32261	PTAや学校、地域、行政が一体となった連絡・調整機能を果たす場の形成を図ります。	生涯学習課	地域教育力の向上を図る。	5. 着手	状況の説明	平成24年度、学校の支援事業、放課後等の支援活動事業を実施した。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策区分 (細節)	施策区分 (細節)	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
									項目	内容
					32262	生涯学習課	地域教育力の向上を図る。	5. 着手	状況の説明	平成24年度、学校の支援事業、放課後等の支援活動事業を実施した。
			3	社会教育施設の充実	32311	生涯学習課	老朽化した施設や設備の充実を図る。	5. 着手	状況の説明	平成24年度は、非常用蓄電池の交換修繕や非常用自家発電機の修繕、大研修室の縦帳交換などを実施した。
					32312	生涯学習課	昭和56年に建設された玉名市文化センターは、現行の耐震基準を満たしていないため、耐震診断を行う。平成25年度に耐震診断を実施し、耐震改修の要否を判断する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成24年度3月補正により社会資本整備交付金を活用した耐震診断事業について補助金申請した。平成25年3月18日に補助金を申請。3月27日に交付決定がなされ、平成24年度繰越事業として平成25年度に耐震診断を実施する。
	3	社会体育の充実	1	生涯スポーツの推進	33111	生涯学習課	設立当初は市及び県からの補助金にて運営を行っていたが、現在は自立運営で活動中であり継続維持を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	自立運営が可能となり援助等は行っていない。
					33121	生涯学習課	ビーチボールバレー大会やグランドゴルフ大会など10大会を、市民スポーツ大会の実施を継続する。	2. 概ね達成	状況の説明	ビーチボールバレー大会など平成24年度は9つの市民スポーツ大会を開催した。
					33122	生涯学習課	全国大会出場者等の補助及び競技スポーツ大会への補助により競技力の向上を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	全国大会等出場者255人に対し出場支援補助を行った。また、金栗杯玉名ハーフマラソン大会は64回大会を迎え、総計657名のエントリーがあり盛況に開催された。
					33131	生涯学習課	生涯スポーツとして誰でも楽しめるスポーツとして普及を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	利用者数増加に伴い、グランドゴルフ、ベタンクともに協会を設立、体育協会にも加盟するほど普及した。
					33141	生涯学習課	学校施設を夜間開放し、地域住民のスポーツ環境を提供。また、トレーニング室での各運動教室の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	学校施設及びトレーニング室の利用者も多く、健康づくりの一助として活用された。
					33151	生涯学習課	スポレクフェアやベタンク大会、市民体育祭でのニュースポーツ競技などの推進を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	ニュースポーツ競技については浸透が図られ、競技力も向上している。
			2	社会体育指導者の育成	33211	生涯学習課	スポーツ推進委員等を研修会に参加させ指導者の育成を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	研修によりスポーツ推進委員の指導能力の向上が図られた。
			3	社会体育施設の充実	33311	生涯学習課	施設の適正管理に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	予算の範囲内で優先順位をつけ、利用者が安心安全に利用できる施設環境整備を図った。
					33321	生涯学習課	横島体育館の新設運用を行う。	6. 未着手	未着手の理由	公共施設適正配置計画の検討結果を踏まえて今後の検討が必要のため。
	4	文化・芸術の振興	1	歴史・文化施設の充実	34111	文化課	企画展に関連した催物や体験学習を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	H24年度は、金栗四三展、発掘速報展外2件の企画展を実施し合わせて講演会も行った。
					34112	文化課	体験及び随時受け付けの体験学習、催物(コンサート等)を年間スケジュールに従い実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	H24年度は、年間25回の体験学習、催物28回(うちコンサート6回)を実施し、館の活用を行った。
					34121	文化課	計画期間中(H25～H26年度)において、文化振興基本計画の中に文化財の保存整備及び活用における計画を策定する。	6. 未着手	状況の説明	公募型プロポーザル方式で提案を募り、提案業者を策定委員会で1次・2次審査したのち委託業者を選定し契約締結する。
					34122	文化課	高瀬裏川の眼鏡橋をはじめ、大坊古墳、永安寺東・西古墳等の国指定文化財を中心に一般公開し他の地域へ広く周知する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	装飾古墳の一般公開には、平成24年度実績として延べ人数約300名の見学者が訪れた。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (番号) ※網掛けは、重点施策	施策種別 (番号)	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標や事柄 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)				
									項目	内容			
	2 文化交流活動の推進		4	34131	市民会館(ホール)は、市民の集いなどや芸術文化活動の拠点施設としてふさわしいホールを整備します。するとともに、市内の文化活動の活性化に努めます。	管財課	今後、H25年度中に建設位置をあらためて決定するとともに、スケジュールを再構築し、遅くとも合併特例債の適用期限であるH32年度までの整備を目指す。	5. 着手	状況の説明	H23年9月に玉名市民会館整備基本計画書を策定したが、合併特例債の適用期限の延長を受け、同年10月に建設位置を未定と変更し、計画の推進は停止状態となっている。H24年度は、建設位置の再決定とスケジュールの再構築に向けた準備を行った。			
				34132	市内の文化活動の活性化に努めます。	文化課	文化協会等の会員の新規加入者及び新規活動の推進する。	8. 評価不能	評価不能の理由	文化協会の登録は80団体ありますが、団体の会員数の増減や新規活動の内訳確認は出来ない。			
				34141	文化協会や各種団体の育成強化に努めます。	文化課	文化協会の支部制度を廃止し、意識の高揚に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	文化協会を一団体に統一し、市民文化祭等催物の充実を図り、一般市民に公開する。			
			1	34211	市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図ります。	文化課	文化協会には、文芸・美術・園芸・伝統文化芸能・コーラス・音楽・新日舞・ダンスの部門があり、其々の部門に入団及び入会の促進を図る。	8. 評価不能	状況の説明	それぞれ部門別の文化祭や発表会の充実及び意識の向上を図る。			
				34212	地域の身近な文化に接する機会を提供します。	文化課	日本の伝統である和装礼法や華道などの教室に将来を担う子供達が参加できる教室を開催する。	8. 評価不能	状況の説明	和装礼法の着装等及び華道の市広報紙により募集。			
				34213	郷土の歴史や文化、芸能、芸術に対する理解と愛着心を育成します。	文化課	学校教育や社会教育と連携し、地元の郷土の歴史を学ぶ機会を提供することにより郷土への愛着心を育成する。	6. 未着手	状況の説明	テーマを決めた文化財めぐりや、さまざまな講座を開催し地元の歴史の再確認を図った。			
			2	34221	地域文化の振興を図ります。	文化課	次世代を担う子供達に地域文化の継承をおこなう。	8. 評価不能	評価不能の理由	文化協会や歴史博物館の出前授業及び体験学習等をおして身近な地元文化の継承を図った。			
				34222	芸術文化団体や市民とともに協働して市民文化祭の充実を図ります。	文化課	芸術文化団体の後継者育成及び文化に対する市民の意識の高揚を目指す。	6. 未着手	未着手の理由	芸術文化団体等にも高齢化が進んでいるため。			
			3 歴史・文化を活かした地域づくりの推進		1	1	34311	郷土の歴史と文化について幅広い見識を持ち、文化財の保護と活用の核となる人材を育成します。	文化課	地元に残る歴史、文化活動グループ等と連携しその人材育成をサポートできるように努める。	5. 着手	状況の説明	国、県及び市指定文化財所在地のある地元グループ等を中心に、管理とともにその伝承をはかることにより人材の育成を推進している。
							34321	伝統芸能は、保存団体とともに積極的な後継者育成を図ります。	文化課	児童・生徒を対象にした伝統行事の催し会など、次世代を担う子どもたちへの啓発事業に対して、保存会と連携を図りながら積極的に支援する。	5. 着手	状況の説明	神楽等の地域に残るさまざまな伝統芸能保存会に積極的に参加させることにより、地域で保存する機運を高めている。
	3	34331				感性を豊かにする知的で創造的な地域の芸術文化活動は、その発掘を推進します。	文化課	玉名市アーティストバンクを実施する。(音楽家、作家、画家等の芸術活動を行う人材を募集し登録する)また、芸術体験の機会を提供する。	5. 着手	状況の説明	ホームページで、アーティストバンクの募集の啓発を図っている。		
		34332				(地域の芸術文化活動は、)新たな担い手の育成に努め、補助制度などを活用した支援を実施します。	文化課	市独自の補助制度を活用し、地域の伝統芸能を次の担い手に繋いでいく。	5. 着手	状況の説明	芸術文化団体等に対し、補助制度を活用しながらその支援を図っている。		
	5 国際交流の推進	1 国際交流活動の推進	1	1	35111	玉名国際交流協会をはじめとする民間の国際交流団体と協働での活動を実施します。	企画経営課	友好・姉妹都市からの訪問団の受入の際に玉名国際交流協会とタイアップして歓迎会を開催する。また、友好・姉妹都市への公式訪問の際には、協会より1名の参加をお願いしている。	2. 概ね達成	状況の説明	26年度には、中国瓦房店市より公式来訪、また米国クラリダ市へ公式訪問の予定。		
					35112	市内在住外国人の生活支援のあり方について検討します。	企画経営課	玉名市在住及び転入された外国人の方々向けに英語標記の生活マニュアルブック(仮称)の作成を検討する。	6. 未着手の理由	未着手の理由	まだ検討段階であり、実施には至っていない。		
				2	35121	米国クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、引き続き定期的な相互訪問を実施します。	企画経営課	H26年度に中国瓦房店市より公式来訪、クラリダ市には公式訪問の予定。	4. 進行中(前半)	状況の説明	H24年度は、中国瓦房店市へ市長を団長に総勢18名で公式訪問した。		
					35122	(米国クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、)教育、産業、文化、医療などの分野における地域資源を生かした交流を推進します。	企画経営課	クラリダ市への公式訪問団の訪問時には中学生も公費で同行させており(H16年から)、次回訪問時にも同行させる予定。	4. 進行中(前半)	状況の説明	H24年度は、玉名女子高等学校吹奏楽部のクラリダ市訪問にあたって国際交流奨励補助金を支給した。なお、瓦房店市とは過去に医療交流を行った経緯があるが近年は実施していない。		

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (項) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)			
								項目	内容		
6 「音楽の都玉名」づくり	音楽の都玉名」づくり	2 国際感覚豊かな人材の育成	1	35211	外国語指導助手 (ALT) を配置するための外国青年招致事業などを積極的に展開します。	教育総務課	JETプログラム (語学指導等を行う外国青年招致事業) によりALT (外国語指導助手) を招致し、小・中学生の語学力とコミュニケーション能力の向上を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 熊本県及び自治体国際化協会を通して、現在6名体制で小・中学校での英語教育を実施している。		
				35212	国際理解を深めることを手助けするボランティアの活用と育成に努めます。	教育総務課	国際理解を深めることを手助けするボランティアを募り、人材バンクという形で登録をし、学校教育の諸活動の中で活用していく。	6. 未着手の理由	具体的な計画がまだできていない。今後、具体案を提示し、推進に努める。		
			2	35221	海外での国際交流や外国人のホームステイを受け入れる市民に対し、活動経費の一部を国際交流奨励費補助により支援します。	企画経営課	外国人のホームステイを受け入れる市民や、海外への国際交流を目的とした訪問に対し、活動経費の一部を国際交流奨励費補助により支援している。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 H24年度は、玉名国際交流協会が主催されている市内6中学校と韓国18家旅館がホストファミリーをされたので一日あたり2,000円×3日＝6,000円の補助を行った。		
				36311	「音楽の都玉名」にふさわしいイベントを積極的に支援します。	文化課	「音楽の都玉名」づくりプロジェクトチームで政策推進ビジョンを作成する。	5. 着手	状況の説明 24年度の玉名市民音楽祭「にほんの歌」でデュークエイセス(ゲスト)大反響で、市民会館ホールも満席であった。		
		1 農林業の振興	農林業の振興	1 6次産業化の推進	1	41111	本市で生産する農林水産物を活かして生産から加工、販売までを実施する事業者を支援します。	6次産業推進室	平成25年度までに、本市の農林水産物を活用し、新商品を10商品を6次産業化することを目指す。 ・6次産業推進事業補助金(H23～H25)	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成24年度末に18商品が完成し、直売所・デパート、インターネット等で販売している。今後多くの商品が開発されている。
						41112	6次産業推進交流会を開催するなどして6次産業への参入のための環境整備を図ります。	6次産業推進室	玉名市内における1次産品を活用し、新たな地域産業を育成するため、各分野の交流及び情報交換などを目的に年4回開催。	2. 概ね達成	状況の説明 年4回開催し、1次・2次・3次産業者が交流できる交流会(異業種交流会)を開催し、152名が参加された。
					2 農産物の振興	1	41211	JAや生産者代表などの関係者、市ブランド関係部署などと連携・協力し、更なる「玉名ブランド」の確立に向けて、消費者ニーズに対応した品種選定や高品質化技術の普及による生産を推進します。	6次産業推進室	玉名市の認知度を向上する目的で開催されている「玉名市認知度向上キャンペーン」に、6次産業者が自ら参加(出展)し、販売会(市場調査:テストマーケティング)の場を提供。	2. 概ね達成
				41212			大消費地などでのトップセールスや玉名フェアなどを開催して、農産物の消費拡大や知名度向上、「玉名ブランド」化に努めます。	6次産業推進室	6次産業推進の成果発表の場として、「6次産品フェア」を開催し、本市の6次産業及び6次産品の周知PRを目的に開催。	2. 概ね達成	状況の説明 事業開始から2年が経過し、玉名市の6次産業の成果発表の場として、平成23年度～平成24年度にかけて玉名市6次産業推進事業補助金を活用された11事業者が出店した。玉名市の6次産業推進事業及び玉名市の観光PRが図られた。
				2		41221	県が進めている「くまもとグリーン農業」へこれまでに農家や団体などの参加を促し、化学肥料や農薬の低減と堆肥などの有機質の活用による環境にやさしい農業を推進します。	農林水産政策課	くまもとグリーン農業参加者のみかみか使用できる表示マーク(くまもtomark)を使い、農家及び消費者に対し、くまもとグリーン農業自体の周知を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成24年度は玉名地域内の農業共同組合、及び共販外の農家を主な対象として参加を促してきた。未加入者には今年度も引き続き勧誘に努める。
					41222	多様な機会を通じて農産物の地産地消の普及に努めます。	農林水産政策課	認定農業者を中心にイベントに参加し農産物の販売、PRを行い地産地消を図る。	5. 着手	状況の説明 平成24年度は、玉名市産物祭に参加した。今後は、市内で開催される各種イベントに参加を促し地産地消に務める。	
3 農業基盤整備の推進	農業基盤整備の推進	1	3	41231	県、周辺市町、関係機関、被害地域と連携・協力しながら実効性ある(有害鳥獣による)被害対策を推進します。	農林水産政策課	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円から平成28年度末までに被害額を50%減である7,755千円以下とすることを目標として、玉名地域鳥獣被害防止対策広域連絡協議会を中心とした広域のかつ多様な事業を実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 玉名地域鳥獣被害防止対策広域連絡協議会が発足し、それに伴い、平成24年度は和木町と玉名市による合同捕獲活動を実施。また、外部の専門家を招聘し被害地域の住民へ被害対策の講習会を開催。		
				41232	防護施設整備など(有害鳥獣による)被害軽減のための取組を図ります。	農林水産政策課	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円から平成28年度末までに被害額を50%減である7,755千円以下とすることを目標として、県、国及び市の事業により効果的な防護施設整備を実施するとともに、玉名市有害鳥獣捕獲隊に年間を通じた捕獲業務委託をすることにより有害鳥獣の個体数調整を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 平成24年度までの整備実績は約52kmであり、平成25年度は約50kmを計画している。効果的な防護施設設置のため設置講習会も計画している。捕獲については、県が策定する鳥獣保護事業計画及び特定鳥獣保護管理計画との整合を図りながら、インシデンが年間250頭、カラスが年間350羽を目標として捕獲を計画している。		
			1	41311	基盤整備や農業用排水施設整備、農道整備などを推進し魅力ある農地づくりに努めます。	農地整備課	玉名市としては、補助事業を活用し、基盤整備により、区画等の整備を計画的に行い、その後農業用排水施設整備・農道整備を行い、優良な農地づくりに努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 基盤整備については、本年度、烏帽子地区で換地処分を行う。平成25年度に向け計画を進めていた扇崎・大野下地区については、地元同意徴収、経済効果を上げるための営農計画、農地集積についての調整が必要となり、平成26年度採択を目指している。農業用排水施設整備、農道整備については、団体営事業で平成25年度から集落基盤整備事業で計画予定。		
				41312	耕作放棄地の解消を進め、効率的かつ安定的な農業生産を目指します。	農林水産政策課	平成20年度から平成25年度の間、耕作放棄地の解消を促すため解消費用の一部を助成し耕作放棄地の解消を図る。	5. 着手	状況の説明 平成24年度の実績は平成22年度、平成23年度の繰越分があったものの解消面積47haであり申請者の努力で耕作放棄地解消の成果に繋がった。		

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
				41313	農地整備課	玉名市に23排水機場があり、供用開始からすでに25年以上の機場が16箇所あり、平成25年度から年1機場の更新採択に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成23年度まで更新事業の採択に向け、基礎調査及び事業計画書を作成し、平成24年度に事業採択を目指していたが、国の予算等により一年遅れて実施している。
				41321	農地整備課	玉名市の海岸保全施設の整備として、玉名横島地区については、国営事業で、岱明・天水地区については、県営事業で継続的に整備を行っている。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	玉名市の海岸保全施設の整備として、国・県事業で継続的に整備を行っている。
		4	畜産の振興	41411	農林水産政策課	平成26年度までの間、農業者の家畜防疫に要する経費の一部を補助し、発生時の被害が甚大な家畜伝染病を未然に防ぐ。	8. 評価不能	状況の説明	熊本県城北地区家畜自衛防疫促進協議会において実施される予防接種を対象としており、家畜伝染病の防疫促進を図った。
				41412	農林水産政策課	県、農協などと共同で飼料、器具、繁殖、ふん尿処理など品質と生産の向上に繋がる情報提供発信を行う。	8. 評価不能	状況の説明	市場動向を見据えた稼げる畜産育成を旨とし、熊本赤牛の導入、ふん尿の良質な堆肥化、飼料用米の利用奨励を行っている。
		5	農業経営者の育成と受皿づくり	41511	農林水産政策課	農業に関する情報発信の積極的な実施により、農業経営に意欲を持つUターンやIターンなど転入者の新規就農を促進します。	5. 着手	状況の説明	転入され農業に従事される方に対し、農業に関する情報発信を行い新規就農の促進を図った。
				41512	農林水産政策課	多様な担い手の参入なども視野に入れ、地域との協働のもとに農業の受け皿づくりに努めます。	5. 着手	状況の説明	平成24年度から、人・農地プラン事業が始まり青年就農給付金の給付による事業及び様々な情報を提供しことから新規就農者が増加した。
				41513	農林水産政策課	農業関係機関と連携し、認定農業者や農業後継者の育成を図ります。	2. 概ね達成	状況の説明	農業担い手の増加を目標に設定し、研修会等を実施し、概ね目標に達した。(認定農業者9件増、内法人6)
		6	農産物の販路拡大	41611	農林水産政策課	補助事業などの制度を活用し、農産物の直売所を設置するなど農産物の販路拡大に努めます。	5. 着手	状況の説明	平成24年度に国の補助事業を受け、JA大浜が地元の水産物及び加工品販売の直売所を設置した。
		7	グリーンツーリズムの推進	41711	農林水産政策課	関連団体との連携による交流プログラムなどの開発を推進し、グリーンツーリズムの取り組み意向を持つ農家などの支援を図ります。	6. 未着手	状況の説明	現在、取り組みを希望している農家は無いが、希望する農家があれば、関係団体と連携し支援を行う。
		8	森林の多面的活用と整備	41811	農林水産政策課	林道の維持・保全や利活用を図ります。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	林道の維持管理については1年をとおした業務委託を行い利用者の安全な通行の確保を行っている。
				41821	農林水産政策課	不正な山林開発行為の防止を図ります。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	林地のバトロールを適宜行うとともに、制度の周知を市広報紙等により実施している。
				41831	農林水産政策課	林業を通じた管理が困難な森林や管理放棄された人工林については、針広混交林化や広葉樹林化など、公益的機能の維持・増進を図り、健全な森林づくりに努めます。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	針広混交林化促進事業により森林の間伐等を実施している。また、荒廃した森林を保安林に指定し、公益的機能の発揮を図っている。
	2	水産業の振興	1	42111	農林水産政策課	県や各漁協と連携して、漁場の管理と資源管理を中長期的な計画を実施し、覆砂、耕うん、種苗の放流、有害物の駆除、堆積物の除去などの漁場環境の保全・整備を図ります。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	水産基盤整備交付金事業を活用し覆砂、耕耘、種苗の放流、有害物の駆除、堆積物の除去を行ってきたが、24年度の水害被害で振り出しに戻ったような感がある。これからも中長期的な展望に経った漁場環境の保全・整備を行って行く必要がある。
				42121	農林水産政策課	「水産基盤整備長期計画」に基づき、施設の利便性と安全性の向上を目指し、漁港整備を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	大浜漁港整備事業(船揚場)444㎡、大正開港整備事業(船揚場)延長32mの工事を完了した。
		2	漁業生産の向上	42211	農林水産政策課	各漁協と連携し、水産物の生産性と品質の向上を図り、安心な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進します。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	各漁協に対して補助金を交付し、漁場整備やアサリ稚貝や稚漁の漁場放流等を行うと共に、県と連携したアサリ生息状況調査や漁協と連携した漁港漁場施設の清掃活動を行った。
				42221	農林水産政策課	稚魚放流事業の取組や魚類の産卵場の維持管理を促進し、河川本来の資源再生産力の復元に努めます。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町で取り組んでいるもので、繁殖保護・人工種苗中間育成・外来魚、カワウ等の駆除・漁場管理対策等を行いながら河川本来の資源再生、生産緑の復元に努められています。
		3	漁業経営の安定化の推進	42311	農林水産政策課	漁業者の高齢化対策や担い手の育成と確保のため、協業化を促進し生産体制の合理化を図ります。	9. その他	その他	県、各漁協と連携し、漁業者の高齢化対策や担い手の育成を進め、協業化し生産体制の合理化を推進しているが、目標設定までは至っていない。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (番号) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			2	42321 補助事業の活用により(漁業)生産体制の組織化を図るとともに、生産性の向上が図られるような共同施設の整備を推進します。	農林水産政策課	県、各漁協と連携し、生産体制の組織化を進め、生産性の向上のため共同施設の整備を推進していますが、目標設定はしていない。	9. その他	その他	県、各漁協と連携し、生産体制の組織化を進め、生産性の向上のため共同施設の整備を推進していますが、目標設定まではいたっていない。
	3 製造業・工業の振興	1 新規企業の誘致	1	43111 市内6箇所の工場適地のPR活動を更に積極的に実施するなどして優良企業の誘致に努めます。	商工観光課	毎年度1社以上の新規企業の誘致又は既立企業との増設協定の締結を目指す。	2. 概ね達成	状況の説明	H24年度は、新設2件(県外企業1件、市内企業1件)と増設1件の立地協定を締結した。
			43112 企業誘致拠点の有利性のある工業団地整備など、経済状況の改善など社会情勢の変化を見守りながら可否を判断します。	商工観光課	誘致しようとする企業が、どのようなインフラ整備を必要としているのか面談の中で情報収集に努める。	9. その他	状況の説明	未だ経済状況が安定しない中、工業団地等の整備を進めさせるか否かの判断が出来ない現状である。	
			2 地場企業・起業家の支援	43211 高度な技術を習得するための研修会やセミナーなどの開催を支援します。	商工観光課	先端技術波及促進協議会の市町会員として、に参加し、研修会やセミナーへ参加することで、企業の技術習得に繋がる。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成24年度は北九州市小倉にあるTOTO本社を訪問し、新築事業商品、環境建材(タイル建材、ハイドロテク塗料など)セラミック、光通信部品など高度な技術について研修を実施した。
		3 就業対策の推進	1	43311 公共職業安定所などと連携し、若者の地元就業や失業者の再就業を支援し、雇用機会の拡大を図ります。	商工観光課	公共職業安定所を訪問し、市内の雇用情勢及び状況等を把握するため、情報交換及び意見交換を行う	3. 進行中(後半)	状況の説明	市内の雇用状況を把握することで、高等職業訓練校や地域若者ステーション等の関係団体と協議を行い今後の若者の雇用支援に役立てた。特に、公共職業安定所における有効求人倍率は平成24年度では0.80%と前年度より0.20%の上昇となった。
				43312 若者の就業などの相談窓口である地域若者サポートステーションなどとも連携し、若い働き手の地元就業の機会拡大を図ります。	商工観光課	たまな若者サポートステーションと連携し、長期間にわたり仕事についていない若者の相談や支援プログラムを通しての社会参加を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	たまな若者サポートステーションでは若者一人ひとりに合わせた適切な支援プログラムによって、働くことに対する自身や意欲の向上につながった。
			2	43321 企業が求める人材を育成するための研修会やセミナーを実施する団体を支援します。	商工観光課	玉名高等職業訓練校やポリテクセンターと連携し、人材育成に係る業務を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名高等職業訓練校については補助による支援を行い、ポリテクセンターについては県内における就業状況の意見交換等を行った。
			43322 企業が求める人材を育成するための学習機会の創出を図ります。(※研修会やセミナーを実施する団体の支援を除く。)	商工観光課	企業に求められる技能や資格を取得することで、目標を持って就労に取り組むよう指導する。	6. 未着手	状況の説明	工業や建築技術、またパソコンによる文書作成、計算等や簿記等の実技講習の実施状況等について検討を行った。平成24年度については実施にはいたらなかった。	
			3	43331 高齢者のニーズを踏まえた就業支援を実施します。	高齢介護課	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、高齢者等就業支援センターでは、技術習得や余暇充実の講座を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	シルバー人材センターへ補助金を支給し、センター運営安定化を図った。高齢者等就業支援センターでは、技術習得や余暇充実の講座を実施した。
		4 商業の振興	1 商店街・商業者の支援	44111 商業者などを対象にした各種研修会の開催(を推進します。)	商工観光課	商業者を対象に国の制度等の情報提供を行い、また、新たな事業を積極的に取り組み、商工業者の意識の向上や活性化を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	国、県、市及び中小企業団体中央会等の機関団体から提供される補助金等の情報を共有するため、定期的に商工業者連絡会議を実施した。
				44112 経営支援、創業支援、市街地に点在する空き店舗や空き地の再生、活用など、商業の総合的な改善を推進します。	商工観光課	地域商店街の活性化を図るため、市街地に点在する空き店舗や空き地の状況を把握し、総合的な改善を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市街地に点在する空き店舗状況を把握し今後の活用を検討するため、空き店舗調査を実施した。
	2			44121 商工会議所や商工会など関係団体を支援します。	商工観光課	経済団体の核となる玉名商工会議所、玉名市商工会を財政的に支援し、本市の商工業及び経済の発展に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	各経済団体に補助金を交付し、本市経済の健全な発展に努めた。
	3			44131 個性的で魅力的な商店街の形成や機能的な市街地空間の創出に努めます。	商工観光課	商店街のそれぞれの個性や特色を情報発信する方策を講じ、魅力的な商店街を形成する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	東部商店会において、魅力的な商店街をアピールするため、商店街マップを作成した。
			44132 商店街の空き地や空き店舗を有効に活用する方策を引き続き検討し、実施可能なものから適宜、実施します。	商工観光課	地域商工業の活性化に寄与するため、商店街に点在する空き地や空き店舗の有効活用を関係機関と連携し検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	実施可能なものとして大型店跡地の空き地は、当面中心市街地の駐車場として暫定的に整備した。また、空き店舗については、今後の活用をはかるための関係条例の整備を検討した。	
	2 商業活性化の推進		44211 玉名の恵みを取り入れたイベントを開催します。	商工観光課	イチゴ、みかん等の期間限定の農産物、水産物をイベントの中でPRし、玉名の地域資源を生かした商業の活性化を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名市民会館で玉名市産物祭として実施し、市内農産物等のPR及び販売を実施した。	
			44212 新たな顧客づくりのための支援を実施します。(※上記のイベントの開催を除く)	商工観光課	トマト、イチゴ、みかんなどを取り入れた玉名ブランド認定品パンフレットを作成し、新たな顧客確保を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	新たな顧客確保に繋げるため、「玉名ブランド認定品29の逸品」としてパンフレットを作成した。	



基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (番号) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			44213	温泉や歴史、文化、まちなみなど玉名の地域資源を活かした商業の活性化を図ります。	商工観光課	「高瀬裏川花しょうぶまつり」、「玉名温泉まつり」などのイベントを継続的に取り組み、商業の活性化を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	高瀬裏川や温泉を生かした街づくりとして、「高瀬裏川花しょうぶまつり」、「玉名温泉まつり」が開催された。
			44221	沿道緑化、街灯整備、ファサードなどの整備を推進します。	商工観光課	商店街が取り組む街灯整備等を積極的に支援し、安心・安全な街づくりを推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	西部地区繁栄会に於いて安心・安全な商店会としての環境を提供するため、防犯カメラと街路灯の整備を行った。
			44231	地域のまちづくりと一体となった商店街づくりを推進します。	商工観光課	商店街の活性化に資する地域のまちづくりの一環として開催されている各イベントを支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	「高瀬裏川花しょうぶまつり」、「玉名温泉まつり」、「西部商店会ザ・夜市」など各地域でまちづくりの一環として開催されているイベントに対し支援した。
			44241	大型商業施設の跡地や市街地に点在する遊休地については、都市政策や街なかに居住を推進し市街地機能の充実を目指す。	商工観光課	大型商業施設の跡地は玉名市中心市街地活性化基本計画に沿って活用を図る。また、市街地に点在する遊休地は、今後の居住推進に向けた活用を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	大型商業施設跡地については、中心市街地の駐車場としてH23年度に整備し、暫定的に活用中。
			44251	食料品などの日常生活必需品の買い物などが容易にできるような、高齢社会にも対応した人にやさしいまちづくりを推進します。	商工観光課	生活必需品等の買物に不便を感じる高齢者が増えてきているため、市内の「買物弱者」における実態を把握するとともに、今後の対応と方向性を検討する。	6. 未着手	状況の説明	「買物弱者」に対する実態調査を実施し、現状を把握し解決策について検討する。具体的な方策は現在検討中である。
			44261	にぎわいがあり人の生活に便利な商店街を目指して、店舗の共同化や協業化を支援します。	商工観光課	商店街各店舗の共同化や協業化を図ることにより、便利な商店街でつくりを検討する。	6. 未着手	状況の説明	商店会組織等を通じ、店舗の共同化や協業化についての意見交換や情報交換を行う。
			44271	商業地、商店街などで取り組む各種イベント事業や販売促進事業など、がんばる商店街を支援します。	商工観光課	市内商店街において各種イベントを開催することで、地域コミュニティとしての商店街づくりに取り組み併せて販売の促進及び活性化につなげる。	1. 達成(完了)	状況の説明	3商店会が実施した商店街イベント事業への助成金を支出した。また、事業への人的支援も行った。
	3 消費者の保護の強化	1	44311	関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保に当たります。	生活安全課	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するためにも、関係団体との連携により消費生活における安全の確保に当たる。	2. 概ね達成	状況の説明	平成21年度～平成25年度の期間による地方消費者活性化基金を活用し、消費生活専門相談員の配置や平成23年6月1日に消費生活センターを設置して、関係団体とも連携して消費生活の安全確保に当たった。
			44312	(関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保のための)普及啓発を推進します。	生活安全課	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するために消費者に対して消費者トラブルの解消に向けた普及啓発活動を推進する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成21年度～平成25年度の期間による地方消費者活性化基金を活用し、出前講座や広報等を通して啓発活動を行ない関係団体とも連携して消費者被害の未然防止に努めた。
	5 観光の振興	1 広域観光ネットワークの推進	45111	近隣市町をはじめ菊池川温泉郷など東北全域との連携を図り、魅力ある地域資源を活かした広域観光ルートの開発と商品化を図ります。	商工観光課	菊池川流域自治体の連携強化し、九州、関西等へ東北広域の観光PRを行い誘客を図る。また、島原半島等、歴史・物語や交通インフラ等をつなげる横軸に観光連携を拡大する。	2. 概ね達成	状況の説明	民間レベルでは、菊池川温泉郷での取組みがあり、県北市町での連携は、県北観光協議会や県北合同PR事業、県北交流拡大プロジェクトでの取組みを実施している。現況、広域観光パンフレット作成や博多駅でのPRイベント等を実施しているが、今年度広域観光ツアーを造成予定。
			45121	観光振興基本計画を策定し、観光地間のアクセス性の向上や観光資源の整備に努めます。	商工観光課	計画を策定することで、玉名固有の資源を有効的・効果的に活用した観光関係者との連携を図り、経済効果を生み、さらには地域の振興と活性化の指標となる。	1. 達成(完了)	状況の説明	玉名市観光の基本方針ならびに戦略を実現するための具体的な取組みを、21の戦略アクションプランとしてまとめ、各戦略アクションプランを推進する取組主体や、取組期間、内容、そして現時点での活動について整理した。
		2 観光情報の充実	45211	外国語表記も含めてすべての人に分かりやすい誘導サインなどの整備を図ります。	商工観光課	多言語表記や、拠点施設におけるサインを整備する。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市の観光に関する四カ国表記のパンフレットはあるが、内容の充実を再検討するとともに広域パンフレットでの多言語表記を推進する。サイン整備は広域連携での対応も実施していく。
			45221	観光ホームページや観光パンフレットの充実を図ります。	商工観光課	着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	2. 概ね達成	状況の説明	現況、市の総合パンフレットやシーズン対応のパンフレットを作成している。今後はより地域性や専門性を出した観光パンフレットが必要となる。
			45222	玉名温泉街をはじめみだった観光地・観光施設、イベント・祭りなど新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報の提供に努めます。	商工観光課	施策No.45221に同じ。	2. 概ね達成	状況の説明	施策No.45221に同じ。
			45231	「観光ほっとプラザ『たまらう』」を拠点として、玉名をはじめ東北地域の情報発信に努めます。	商工観光課	ターゲット毎のPRプランの設計 ターゲット毎の観光キャンペーン・観光セミナーの開催 福岡県・熊本県のメディアへの情報発信	2. 概ね達成	状況の説明	たまらうの玉名観光サイトにて、イベント情報、新商品情報等最新情報を常にアップし、多くの方々に閲覧してもらっている。 (情報アップ数…H23、H24とも約400件、閲覧数H23…167,699件、一日平均458件、H24…184,759件、一日平均506件)
		3 特産・物産品の開発と販路拡大	45311	玉名ブランド認定品を推奨します。	商工観光課	玉名ブランド認定品29品目を各種観光物産展において紹介、販売し、認知度の向上に努める。 ラジオ、テレビ、雑誌の視聴者プレゼントなど、機会あるごとに提供し、認知度の向上に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	広島フワワーフェスティバル(広島市)、渋谷フェスティバル(東京)、関西ふるさとフェア(大阪)、福岡市内などの大都市でのイベント等に参加し、ブランド認定品の周知に努めた。視聴者プレゼントも行った。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
				45312	新たに地域ブランド推進による地域振興を図ります。	商工観光課	ブランドメッセージやロゴ等を市民提案型にて作成し、今後の玉名の地域発展のための活動の御旗とする。	1. 達成 (完了)	状況の説明 ブランドメッセージとして「7文字の玉言葉」を募集し、1,435件の応募があり、メッセージやロゴの選定も行政以外の市民を含む委員会で実施した。
				45321	販路拡大のため、ブランド認定品などを地域イメージと結びつけ県内外のイベント出展や商談会、チャンなどでPR活動を行います。	商工観光課	「玉名と言えば〇〇。」と言われるように、地域イメージとしての定着を目指し、各種イベントや物産展、商談会などに積極的に参加し、販路拡大につなげる。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 広島フラワーフェスティバル(広島市)、渋谷フェスティバル(東京)、関西ふるさとフェア(大阪)、福岡市内などの大都市でのイベント等に参加し、ブランド認定品の周知に努めた。 3市(玉名、山鹿、菊池)による合同商談会を開催し、販路拡大に向けての事業を始めた。
		4 観光資源の魅力創出		45411	健康志向が益々高まる中で薬草などの地域資源を使った観光商品の開発(に努めます。)	商工観光課	温泉、薬草料理等を活用し、九州看護福祉大、小岱山薬草の会、温泉組合等が連携し、美と健康をテーマにした観光商品開発を実施する。	2. 概ね達成	状況の説明 H25年2月に2週続けて薬草に関わるモニターツアーを実施した。(日帰り40人、一泊2日37人、計77人) H25年3月には、薬草料理等を取り上げた「女子カアアップ日帰りバスモニターツアー」を実施(30人)
				45411	玉名版湯治場など九州看護福祉大学などとも連携を図り「玉名へ来たたい。」と思っただけのしくみづくりに努めます。	商工観光課	九州看護福祉大学の鍼灸診療と温泉の連携を図っていく。	2. 概ね達成	状況の説明 H24年4月に九州看護福祉大学内に鍼灸臨床センターを設置されている。治療を兼ねて温泉に宿泊されている。現在、鍼灸治療と温泉をプログラム化しているものはないが、今後、検討していく。 なお、上記の薬草に関わるモニターツアー一泊泊客37人も鍼灸を体験され大変好評であった。
				45411	観光地や温泉旅館などでの「おもてなし」を通じ観光客のニーズを踏まえた玉名へのリピーター増加を促進します。	商工観光課	観光関連事業者向けに接遇やおもてなし力向上の講座を開催する。	2. 概ね達成	状況の説明 荒尾・玉名地域の広域連携でおもてなし力向上のため、観光関係者の「おもてなしの心」の育成に取り組んだ。 平成24年度は、4回の研修会を実施
				45421	関西以西をターゲットに観光客誘致キャンペーンを展開し、誘客に努めます。	商工観光課	大阪、広島、福岡をターゲットに観光キャンペーンや観光セミナーを開催する。	2. 概ね達成	状況の説明 平成24年度の実績(大阪、広島を記載) 大阪…2月の大阪フェア、3月未だ神百貨店での物産展 広島…5月フラワーフェスタ参加、10月広島フードフェスタ、1月県北協議会にて都道府県対抗男子駅伝にあわせてPR事業を展開
				45431	多様なメニューの商品化を目指しハード、ソフト両面での受け入れ態勢の整備を図ります。	商工観光課	観光の拠点施設におけるバス駐車場、トイレ、サイン、会議スペース等の整備	2. 概ね達成	状況の説明 観光ほっとプラザ「たまらう」の整備、その他観光施設の改修計画を策定していく。
				45432	歴史、文化、自然、景観、食、スポーツ、環境など、あらゆる観光資源を活かした観光メニューの開発に努めます。	商工観光課	着地型観光商品開発を拡大させる。	2. 概ね達成	状況の説明 いちご狩り、みかん狩り等の玉名の農産物を活かしたもの。高瀬の町並みや米の積出施設等文化財を活かしたもの。山、川、海といった自然を活かしたもの。これらの観光素材を行って見て体験するメニューを盛り起している。
				45433	山間部や海岸部などの地域ごとの特色と産業を活かした体験型メニューも創出し、広域観光ネットワークの充実に努めます。	商工観光課	健康志向の高まりに対応したウォーキングやトレッキング、また、県北唯一の海水浴場等の観光メニューを開発していく。	2. 概ね達成	状況の説明 小岱山トレッキングや草枕ウォーキング等の情報発信、鍋原海岸での海水浴場としての利用促進や地引網体験等の情報発信を実施
				45441	各産業・各業種の団体などに対して観光協会への協力や加入を呼びかけ、幅広い視点をもった観光協会の充実に努めます。	商工観光課	観光関係のネットワーク化(観光関係団体との交流・連携、他地域の連携)、また、収益事業の一環として、法人格取得等協会の体制強化を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 H26年4月1日の一般社団法人設立を目指し、当協会の法人化検討委員会にて推進している。
				45451	玉名温泉観光旅館協同組合を中心に、観光協会、商工会議所、商工会、商店街などと一挙に活性化を推進します。	商工観光課	各観光団体にて、着地型観光商品開発を拡大させることで、その商品と商品をつなぎ合わせる。	2. 概ね達成	状況の説明 旅行代理店と協力し商品化でき、商品化を調整する段階で連携体制も固ることができた。
		5 国際観光への対応		45511	観光協会や温泉旅館などの関係団体と連携し、外国語表記のパンフレット作成や分かりやすい案内板などの整備を推進します。	商工観光課	多言語表記、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	2. 概ね達成	状況の説明 現況、市の総合パンフレットやシーズン対応のパンフレットを作成している。今後はより地域性や専門性を出した観光パンフレットが必要となる。
5 いきいきと暮らせる福祉のまちづくり	1 保健医療体制の充実	1 健康づくりの推進		51111	支援が必要な方には、随時、保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携を取り、健やかに暮らせるよう調整支援していきます。	保健予防課	支援が必要な方に関係各課や関係機関等と連携強化を図り調整支援に努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明 母子・成人など各課との連携が必要なケースに関しては、必要時関係機関と連携を取りながら調整支援している。
				51112	保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携のしくみを充実させていきます。	保健予防課	市民には、その人に必要なサービスを調整支援し、ネットワークづくりとしては、有明地域保健医療福祉連携会議や玉名市健康づくり推進協議会等の場で相互連携強化を図る。	5. 着手	状況の説明 個人の相談に応じて、随時関係機関と連携した支援を実施。広域のネットワークとして、有明地域保健医療福祉連携会議や健康づくり推進協議会等のメンバーとの相互連携を図った。
				51113	市全体では、健康づくり推進協議会、食育推進連携会議、有明保健医療福祉連携会議などの活用により、関係機関の相互連携を図り、健康づくりの輪を拡充します。	保健予防課	健康づくり推進協議会、食育推進連携協議会等を通して連携の輪を広げ、市民の健康的な生活を支援していく。	5. 着手	状況の説明 健康づくり推進協議会では、保健センターで実施する事業を協議、検討し、食育連携推進協議会では、市民の全ライフステージ毎に関係各課・関係機関との連携による事業を実施した。
				51121	「心身に障がいを持つ人とともに生きる地域づくり」を目指し、地域活動を推進します。	総合福祉課	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	5. 着手	状況の説明 広報を通じて啓発活動をしている。障害者団体や障害者関係事業所等へチラシを配布し協力を依頼した。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
			3	51131	関係機関と連携して予防接種率の向上と安全な予防接種の体制づくりに努めます。	保健予防課	予防接種法に基づき関係機関と連携し、また対象者へ周知を図ることにより、適正および安全に予防接種ができる体制を整備する。	2. 概ね達成	①定期予防接種説明・学習会及び予防接種法改正等に伴い、玉名郡市医師会・委託医療機関を対象に説明・学習会を開催し、適正な接種と過誤防止、②個人接種状況をシステム管理し、過誤防止に努め、③対象者には広報・育児学級・乳幼児健診・育児相談・教育委員会の協力等にて周知、啓発、接種勧奨等を図り、また、④予防接種実施委託医療機関を市内医療機関以外に熊本県医師会と契約し、広域化を図り、接種を受けやすい体制にした。
			4	51141	幼児期からのフツ化物洗口による虫歯予防を推進します。	保健予防課	現在、玉名市内幼稚園・保育園26園中10園での実施(38.5%)公立保育所全園未実施の状況。全園実施を目指し、推進活動に取り組む。	4. 進行中(前半)	子育て支援課や公立保育所、玉名郡市歯科医師会と相談・検討中である。玉名市内全園にフツ化物洗口の意識調査を実施した。また、3歳6か月児健診の場において、集団歯科指導及びチラシ配布によるフツ化物洗口の知識向上を図っている。
				51142	壮年期における歯周病検診を実施します。	保健予防課	人間ドッグ、よい歯の広場、食育フェアにて継続的に取り組む。	2. 概ね達成	毎年、人間ドッグの節目年齢(40・45・50・55・60歳)の方に歯周病検診実施。また、よい歯の広場(1回/年)、食育フェア(1回/年)において無料で歯科健診を実施している。
				51143	学校教育においては、児童・生徒の虫歯予防と健康教育を推進するため、食後の歯磨き習慣や必要に応じた虫歯治療を推進します。	教育総務課	すべての学校において健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を作成し、発達段階に応じた適切な保健指導を行う。	1. 達成(完了)	すべての学校において健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を作成した。それに基づき、発達段階に応じた適切な保健指導を行っている。
			5	51151	食生活改善推進員は、随時食や健康に関する研修により技量を高め、地元地区での伝達活動を実施し、市民に食と健康の輪を拡充します。	保健予防課	市民一人ひとりが健全な食生活を実践できるよう、推進員が食を中心とした健康づくりを地域へ普及・推進するためのボランティア活動が、充実するよう支援する。	4. 進行中(前半)	推進員が、食生活改善や食育活動ができるよう、地域の健康課題に添った学習会を開催している。
			6	51161	家庭、保育所、幼稚園、学校、生産者、流通、消費者など多様な関係者との連携を深め、市民が食に関する正しい知識を身につけ健康的な食生活が実践できるよう取り組みます。	保健予防課	子どもから大人まで全てのライフステージにおいて、食に関する知識や理解を高めながら食を食べる力、生きる力を身につけ、実践できるよう、関係機関と連携、協力して食育を推進する。	4. 進行中(前半)	食育推進連携会議を開催し、食育推進について協議、情報交換等を行っている。また関係者が連携、協力して食育啓発事業として食育フェアを開催した。
			7	51171	保健センターの機能を充実するため、安心して相談できる場の確保や支援するしくみと内容を充実するとともに、スタッフの質を向上します。	保健予防課	市民が安心して相談できるように各種事業における場の確保や周知、内容充実、スタッフの質の向上に努める。	3. 進行中(後半)	場の確保に関しては、訪問や保健センターを利用している。スタッフの質の向上に関しては、各種研修会や自己研鑽を行なっている。
			8	51181	事務事業見直しを適宜行い、住民に直接関わることのできる保健師と栄養士の地区担当制を充実させ、実態に即応した保健活動を実施します。	保健予防課	母子から成人まで必要な対象者に迅速に丁寧に関わりが持てるように、対象者把握に努め対応できるように事務事業の見直しに努める。また、地区診断のによる地域ニーズにあった保健活動の充実を図る。	4. 進行中(前半)	母子保健や成人保健対象者に対し、保健師・栄養士等と連携し訪問活動を推進している。
			9	51191	気軽に相談できる体制づくりを強化し、相談支援事業所や関係機関などと連携をとり、心身の健康づくりを推進します。	総合福祉課	既に着手している。障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	有明圏域で相談支援事業に実施している。毎月巡回相談を開催し、身近な地域で相談が受けられるよう努力している。相談支援事業所と連携をとりながら行っている。
			A	511A1	総合的に対応する相談体制の構築を図り、自殺対策を推進します。	総合福祉課	既に着手している。啓発活動や相談支援を充実させ、自殺者の減少に取り組む。	4. 進行中(前半)	県の補助事業を利用して実施している。月1〜2回、臨床心理士による相談会を開催し、悩みや相談に対応している。
		2 医療体制の充実	1	51211	県保健医療計画に基づき、有明保健所、管内救急指定病院、医師会、消防関係などと連携を図り、夜間や休日の救急患者への対応体制の整備に努めます。	保健予防課	市民の健康と安心を確保するため、関係機関と連携し、夜間・休日の救急患者への対応体制の充実を図る。	5. 着手	有明地域の救急病院や公立病院の運営及び、玉名郡市医師会等への休日・夜間診療等体制整備のための補助を実施。
			2	51221	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度の設立について関係機関に要望します。	企画経営課	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度を設立し、医学生を確保できるよう関係機関に依頼する。ただし実績はなし。	5. 着手	将来、医師として公立玉名中央病院に勤務し本市の地域医療に貢献しようとする医学生を対象に、玉名中央病院企業が事業主体になり取り組む貸付事業の原資となる負担金を市が払う制度で、24年度は実績なし。25年度以降も継続する。
			3	51231	ターミナルケアの充実のための議論を深めます。	企画経営課	ターミナルケアの充実のため、公立玉名中央病院において議論を深めていただくよう、適宜、要請していきます。	5. 着手	機会あるごとに、必要に応じ要請した。
				51232	公立玉名中央病院において、がんの治療法として手術や放射線治療と同様に非常に有効な抗がん剤の使用による化学療法の実施を公立玉名中央病院に要望していきます。	企画経営課	公立玉名中央病院において、がんの化学療法の充実を図っていただくよう、適宜、要望していきます。	5. 着手	機会あるごとに、必要に応じ要望した。
2 保健活動の推進	1 保健活動の推進		1	52111	家庭訪問、健康診査、育児相談、母子保健推進員活動などを実施し、ケースに応じた保健指導・支援により母子保健の向上を推進します。	保健予防課	乳幼児が健やかに育発達し、保護者が安心して子育てできるように、あらゆる母子保健活動の中で、保護者の育児力形成へつながる保健指導に努める。特に乳児訪問指導と各乳幼児健診受診率の向上・維持を図る。	3. 進行中(後半)	乳児訪問は、保健師・助産師452件、母子保健推進員317件実施した。また、乳幼児健診受診率は、4か月健診99.1%、8か月健診94.8%、1歳8か月健診98.4%、3歳6か月健診98.7%であった。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策区分 番号	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
									項目	内容
			2	52121	総合計画、食育計画、次世代育成計画、特定健康診査等実施計画を含む『健康玉名21・健康なまちづくり計画』を策定します。	保健予防課	玉名市に住むすべての人が、心身ともに健康で自分らしく暮らせるよう、各ライフステージ毎のヘルスプランと、地域全体の健康度を上げるための地域づくり施策を盛り込んだ計画を策定します。	6. 未着手	状況の説明	食育計画は平成23年度策定、実施中であり、特定健康診査実施計画は、平成24年度策定。ヘルスプランは任意の計画であり、今後策定予定であり、計画の方向性を検討中。
			3	52131	腎機能重症化防止を図り、慢性腎不全による透析導入への進行を阻止し、新規透析導入患者を減少させます。	保健予防課	人工透析導入への進行を阻止するため、慢性腎臓病(CKD) 該当者への保健指導実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	慢性腎臓病(CKD) 該当者に対する保健指導実施率は、H24年度末現在では64%(110人/172人)である。
				52132	慢性腎臓病(CKD) に伴う循環器疾患(脳血管疾患、心筋梗塞など)の発症の抑制を図ります。	保健予防課	心血管系疾患(脳血管疾患、虚血性心疾患等)の重症化予防のため、高血圧・高血糖該当者への保健指導の実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	Ⅲ度高血圧該当者に対する保健指導実施率は、H24年度末現在97%(32人/33人)、Ⅱ度高血圧では58%(151人/259人)HbA1c7以上では74%(103人/139人)である。
				52133	各ライフサイクルに応じた長期にわたり進行する腎疾患を早期に発見するために、生涯にわたり継続して予防できる体制を整備します。	保健予防課	胎生期(妊娠期)から生活習慣病を予防のため、妊婦健診結果から妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群、貧血該当者への保健指導の実施を図り、若人健診等へ繋げる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	母子手帳交付時に集団教育を行い、妊婦健診結果で必要な人への保健指導を実施した。更に、若人健診等への受診勧奨を行った。
			4	52141	特定健診などの受診率の向上を図ります。	保健予防課	生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため受診勧奨を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各種団体等及び広報等のあらゆる機会を通して、受診の必要性について勧奨を行った。
				52142	がん検診などの内容の充実を図ります。	保健予防課	近年継続して死亡原因の1位を占めているがんを早期に発見し早期治療することで、手遅れによるがん死を防ぐため、より多くの市民への啓発を行ない、受診率の向上及び内容の充実を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各種団体等及び広報等のあらゆる機会を通して、受診の必要性について啓発を行った。
				52143	特定健診の新規受診者の掘り起しを積極的に実施します。	保健予防課	脳血管疾患死亡率の減少、虚血性心疾患死亡率の減少、糖尿病腎症による新規透析導入患者数の減少のため、受診率の向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	H24年度特定健康診査受診率は、国の目標率65%に対し32.3%(暫定)であり、新規受診者583人であった。
3	社会福祉の充実	1 子育て支援の充実	1	53111	延長保育事業、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業などを推進します。	子育て支援課	保護者の保育ニーズに対応し、延長保育や一時預かり事業を実施することで、子育てにおける負担軽減や仕事と子育ての両立支援を行う。就労等のため日中、保護者が家庭にいない小学生を放課後に学童クラブで預かり、適切な遊びと生活の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	・平成24年4月の保育所民営化により、延長保育実施保育所が15園から1園増加して16園となった。 ・一時預かり事業は、実施保育園は6園と変わりがないものの、利用児童数は年々大幅に増加している。 ・放課後児童健全育成事業(学童保育)は、12クラブで実施している。
			2	53121	(子育て支援)の情報発信や相談の窓口となる地域子育て支援センターなどを中心に、子育て支援団体などのネットワーク化を推進します。	子育て支援課	地域子育て支援拠点施設の活動を軸に、こそだてのわ会議の場を通じて子育て支援団体との情報の共有と発信を行うとともに、活動支援を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	24年度から子育て支援センターくすの木の体制強化により「こそだてのわ」事務局としての位置づけを行い、活性化を図った。これにより参加団体も増加しており、情報の共有と発信を行うことにより子育て支援団体の活動活性化に寄与している。24年度からはたまりんを通じて情報の発信も行っている。
			3	53131	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業の充実を図ります。	子育て支援課	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業について、さらにニーズに応じた内容の充実を図る。	8. 評価不能	状況の説明	いずれの事業も前年度にくらべ利用者が増加しており、ニーズに応じた必要なサービスが提供できている。
			4	53141	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえた総合的な支援策の推進を図ります。	子育て支援課	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえ、必要に応じた総合的な支援策の推進を図る。	8. 評価不能	状況の説明	要望があった准看護婦を母子家庭等高等技能訓練促進費の対象に加えることとし要綱を改正、25年度から適用した。
			5	53151	家庭児童相談・婦人相談事業などを通じて、問題の早期発見やきめ細やかな対応を図ります。	子育て支援課	家庭における適正な児童の養育その他家庭児童福祉の向上及び女性相談窓口の周知を図るため、民生委員児童委員等の説明会や広報等により相談体制の充実を図る。	8. 評価不能	状況の説明	婦人相談員2名による要保護女子の相談、家庭児童相談員による児童相談で相談の支援体制を行っている。
				53152	家庭だけでなく、保育所や学校、地域社会においても、子育てのための環境整備を推進します。	子育て支援課	地域子育て支援拠点を中心に、保育所や学校などとも連携を図りながら、子育て環境の整備につとめる。	8. 評価不能	状況の説明	地域における子育て支援の拠点として、5か所の地域子育て支援拠点を配置しており、保育所や学校などとも連携を図りながら活動を行っており、36千人余りの利用者がある。
		2 障がい者支援の充実	1	53211	障がいのある方や家族が抱える相談に対応するため、有明圏域での相談支援事業や手話通訳者の設置を引き続き実施します。	総合福祉課	既に着手している。障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	有明圏域で相談支援事業に実施している。毎月巡回相談を開催し、相談支援事業所と連携をとりながら行っている。週1回本庁ロビーに手話通訳者を設置している。
			2	53221	各種福祉制度の適正な運用を図るため、『広報たまな』による周知や窓口照会への対応を徹底して実施します。	総合福祉課	必要な福祉制度の情報を提供し、障がいのある人やその家族の暮らしを支援する。	5. 着手	状況の説明	広報や窓口等を通じて啓発活動をしている。
			3	53231	心身の発達に遅れや障がいあり、継続的な療育などが必要な子どもや家族に対して、子どもの年齢に応じた総合的な療育指導や助言を行う取組を推進します。	総合福祉課	既に着手している。今後も早期発見早期療育を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	乳幼児健診等を通じて早期発見をしてもいい、関係各課と連携をとりながら早期療育に繋がるよう取り組んでいる。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細目) ※網掛けは、重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
								項目	内容
				乳幼児期の保育や教育に携わるスタッフへの連続性ある支援体制の充実に努めます。	子育て支援課	保育所などにおいても、発達障害や気になる子が増えており、心理相談員を配置し、保育所などへの巡回相談や研修会、講座等を行い、スタッフの資質向上と支援体制の充実にを図る。	5. 着手	状況の説明	25年度から任期付職員として心理相談員を採用。
				法律などに則った福祉サービスなどを提供しながら、今後も福祉の向上に努めます。	総合福祉課	障がい者やその家族の生活を支援するために必要な福祉サービスを提供し、暮らしを豊かにする。	2. 概ね達成	状況の説明	相談支援事業所をはじめ、関係機関と連携を取りながら、必要なサービスを提供している。
				障害者住宅改修事業などにより、住宅の確保や在宅生活での自立支援を実施するとともに、介護者の負担軽減を図ります。	子育て支援課	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会による関係機関の連携を図る。	8. 評価不能	状況の説明	地域協議会では代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を実施。個別ケース検討会議では、関係機関と連携し定期的な会議により支援体制の整備を行っている。
				障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の権利を擁護するための施策を県と連携して推進します。	総合福祉課	障がい者に対して正しく理解し、健全者とともに共同社会を築いていく。また障がい者の基本的人権が守られるよう関係者と連携を図りながら推進していく。	5. 着手	状況の説明	成年後見人制度や権利擁護についての相談や啓発活動を実施している。
	3	高齢者支援の充実		介護を必要とする高齢者が適正な介護サービスを利用できるように介護保険制度の情報提供などを積極的に実施します。	高齢介護課	包括支援センターやサービス事業者のケアマネージャと連携を図ったり、広報や高齢者の集いで事業の周知に努め、高齢者の生活支援ができるようにする。	4. 進行中(前半)	状況の説明	新規認定者の認定結果送付時に適時行っている。
				清掃活動、独居老人宅訪問、神楽などの伝統行事への参加などの地域貢献活動を実施する老人会は、補助金の支給により支援します。	高齢介護課	老人クラブは地域貢献活動を中心に地域のために活動している団体であり、補助金の支給を含め支援していく。	4. 進行中(前半)	状況の説明	102件の単位老人クラブに各クラブの活動費として補助金支給により支援を行っている。また、市老人クラブ連合会にも「ふれあいアンドヘルプ事業推進」や「健康づくり推進事業」等の全体活動のため、補助金支給により支援を行っている。
				個々の高齢者の経験や特技などを生かした就労の機会を提供するシルバー人材センターは、補助金の支給により支援します。	高齢介護課	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、センター運営の安定化を図る。もって、高齢者雇用の充実に支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	センター運営の安定化のために、玉名市シルバー人材センター事業補助金を支給し、支援を行っている。
				介護の必要がない高齢者には、高齢者福祉事業などによる細やかな高齢者福祉サービスを提供します。	高齢介護課	高齢者の生活や介護の悩み・相談に対処し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。	5. 着手	状況の説明	包括支援センターやサービス事業者のケアマネージャと連携を図ったり、広報や高齢者の集いで事業の周知に努めている。
	4	地域で支え合う体制の充実		市の社会福祉協議会や民生委員・児童委員などにより地域による見守り体制と市の連携を進めます。	総合福祉課	高齢者だけ(65歳以上)の世帯の情報提供。	5. 着手	状況の説明	情報提供は、社会福祉協議会を經由して民生委員・児童委員に提供され、地域の見守りに活かされている。
				災害時要援護者に対する支援では、災害に支援を求める高齢者や障がい者などの実態把握、関係各種団体との連携や調整に努めます。	総合福祉課	民生委員・児童委員に玉名市災害時要援護者避難支援計画(個別計画)票を配布し、実態把握に努めている。	5. 着手	状況の説明	平成24年度は1599件の実態把握ができています。今後も継続していきたい。
				深刻な社会問題として近年急増し顕在化している児童虐待やドメスティック・バイオレンスを防止します。	子育て支援課	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会による関係機関の連携を図る。	8. 評価不能	状況の説明	地域協議会では代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を実施。個別ケース検討会議では、関係機関と連携し定期的な会議により支援体制の整備を行っている。
				高齢者の虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	高齢介護課	地域包括支援センター及び、介護保険サービス事業者・関係機関等との連携の強化により、虐待の防止と問題解決に向けた支援の構築を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	困難事例の増加と共に、適切な対応と信頼関係及び、専門性に基づく問題解決へ向けた支援の取組を行っている状況にある。
				障がい者などの虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	総合福祉課	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	5. 着手	状況の説明	総合福祉課内に障害者虐待防止センターの設置し、相談や対応を行っている。民生委員児童委員や警察署や保健所と連携して行うように協力依頼をしている。
				様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	人権啓発課	発生した人権問題に関係のある部署や機関と連携している	1. 達成(完了)	状況の説明	事例が発生した場合にのみ取組を実施
				有償ボランティアによる移送サービスは、関係団体との調整を実施し充実に努めます。	総合福祉課	道路運送法及び道路運送法施行規則等の規定の範囲内で、NPO法人、社会福祉法人等運送主体の先も含め充実に図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	現在、玉名市の有償運送ボランティアの移送サービスの運送主体は、NPO法人地域たすけあいの会のみ。サービス内容の充実に努めている。
	5	ユニバーサルデザインの推進		すべての施策を展開する基本的な視点としてユニバーサルデザインの考え方を踏まえます。	総合福祉課	広報等を通じて啓発活動をする。	5. 着手	状況の説明	広報等を通じて啓発活動をする。関係各課と連携しながら取り組む。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (番号) ※網掛けは、 重点施策	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)						
								項目	内容					
				53512	総合福祉課	広報等を通じて啓発活動をする。	5. 着手	状況の説明	広報等を通じて啓発活動をする。関係各課と連携しながら取り組む。					
4	社会保障の充実	1	介護保険事業の充実	54111	高齢者のニーズに合わせて、地域密着型サービスなどの介護サービスの充実を図ります。	高齢介護課	平成26年4月開設予定で地域密着型小規模多機能型居宅介護施設を1施設開設予定。平成27年度以降については、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	地域密着型小規模多機能居宅介護事業所の選定について平成25年3月に行っている。				
				54121	地域支援事業(任意事業)などの充実を図ります。	高齢介護課	高齢者の生活や介護の悩み・相談に対処し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。	5. 着手	状況の説明	包括支援センターやサービス事業所のケアマネージャと連携を図ったり、広報や高齢者の集会で事業の周知に努めている。				
				54131	居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供します。	高齢介護課	要介護認定や要支援認定を受けた高齢者に対し、適宜、きめ細かな居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	施設サービスの入所待機状況を適時サービス事業所と連携し調査を行っている。				
				54141	「いきいきふれあい活動」や「介護予防体操」などの一次予防事業を実施し努めます。	高齢介護課	平成24年度末で、「いきいきふれあい活動」83カ所、「介護予防体操」93カ所を実施。26年度までの第5期介護保険事業計画の目標をすでに達成している。行政区259地区のうち、地区公民館がない所もあるが、平成27年度以降については、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成24年度末で、「いきいきふれあい活動」83カ所、「介護予防体操」93カ所を実施。介護予防体操事業を利用し、地区公民館を新築・改修などを実施し、より多くの地区で一次予防事業を推進している。				
				54142	虚弱な高齢者を対象に通所や訪問型の運動・口腔等機能改善のための二次予防事業を実施し介護予防に努めます。	高齢介護課	参加者の機能向上のためのプログラムの実施により、できる限り要介護状態に陥らないよう努める。平成27年度以降については、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	5. 着手	状況の説明	通所型運動機能向上プログラムを市内3カ所で月4回12ヶ月実施。(1人あたり4ヶ月間16日)参加者164名。運動器項目の改善率67%。体力測定結果平均84%改善。口腔器機能向上プログラムを市内5カ所で月1回3ヶ月間実施。参加者64名。				
				54151	地域包括支援センターの機能強化と充実を図ります。	高齢介護課	包括支援センターの機能強化に努め、連携強化を図り、高齢者の生活の悩みや介護に関する問題解決に繋げる。	3. 進行中(後半)	状況の説明	包括支援センターと連携により、高齢者の生活や介護に関する問題解決を図った。また、より高齢者等が相談しやすい事務所配置や権利擁護等福祉サービスの連携強化等を図るため、3ヶ所の地域包括支援センターを平成25年4月1日より玉名市包括支援センターとして再編した。				
				2	国民健康保険事業などの健全運営	1	54211	医療費抑制のため、ジェネリック医薬品の推進、被保険者の健康医療に対する意識の高揚などを図ります。	保険年金課	ジェネリック医薬品差額通知書の送付及びジェネリック医薬品使用希望カードの配布により、ジェネリック医薬品の使用を促し医療費の抑制につなげる。	8. 評価不能	評価不能の理由	疾病やそれに伴う薬剤の種類等によりジェネリック医薬品に変更できないものもあり、変更するためには医師の判断によるものである為評価が困難であるが、継続して啓発していくことが必要。	
							54221	受診率向上の取組を講じ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	保険年金課	特定健康診査の受診率をH24年度末で65%と定め、申込方法等を見直し、受診勧奨の強化に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成24年度特定健康診査受診率: 32.3% (平成25年度以降の第2期計画に承継)	
							54222	保健師などによる健診後指導を充実させ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	保険年金課	特定保健指導の実施率をH24年度末で45%と定め、健診後の指導の充実を図り、早期治療、重症化予防に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成24年度特定保健指導実施率: 30% (平成25年度以降の第2期計画に承継)	
							54231	後期高齢者医療制度の円滑な事業運営を図るため、制度の周知に努めます。	保険年金課	毎月年齢到達者に対し制度説明会を開催。制度内容を広報誌掲載やホームページ更新	1. 達成(完了)	状況の説明	円滑な事業運営を継続するため、毎月各自治区毎に制度説明会を開催し、保険料収納率の向上や給付事業への理解と認識の向上を図った。また、機会あるごとに広報誌やホームページに保険料の納付、料率、健康診査、給付事業等について掲載し、後期高齢者以外の方の含め広く制度を周知することができた。	
							54241	玉名市国民健康保険滞納対策事業実施要綱により、短期被保険者証や資格証明書を発行し、また、被保険者との接触の機会確保に努めるなどして収納率の向上を図ります。	税務課	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いでもらい、滞納者との接触の機会確保に努め、収納率の向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いでもらい、滞納者と接触し、納税相談等を行い、収納率向上に努めた。	
				3	国民年金制度の啓発	1	54311	年金制度の理解を深めるための情報提供や相談体制を充実し、制度の普及啓発を進めることで、対象者への適正な完全適用を目指します。	保険年金課	年金制度について、広報誌掲載やホームページの更新	1. 達成(完了)	状況の説明	年金制度について、広報誌等への掲載を行い、制度の普及啓発に努めた。	
							4	低所得者福祉の充実	54411	要保護世帯の援助や自立支援を推進するため、庁内関係課や関係機関と連携した相談や援助・指導体制の充実を図ります。	総合福祉課	特に庁外の関係機関、玉名公共職業安定所や玉名市社会福祉協議会等と連携を図り、要保護世帯の自立を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明
				5	大学を活かしたまちづくり	1	大学公開講座の活用	55111	九州看護福祉大学をはじめ包括協定大学での公開講座の積極的な活用します。	企画経営課	玉名市は九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学の3大学と包括協定を結び公開講座等に参加している。	4. 進行中(前半)	状況の説明	子育て支援課では、メディアの研修会等を九本の公開講座とタイアップして行ったりしている。
								55112	大学講師を招いた市民ニーズに合った各種講演会などを開催します。	企画経営課	企画経営課主催で行う予定はなし。	6. 未着手の理由	未着手の理由	企画経営課主催で行う予定はなし。

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細目) ※網掛けは、重点施策	施策区分 (番号)	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)							
									項目	内容						
			2	大学施設の活用	1	55211	図書館、体育館、グラウンドなどの(九州看護福祉)大学施設の市民活用について、引き続き推進するよう要望してまいります。	企画経営課	九州看護福祉大学の施設利用について、市民のニーズに沿うように、また利用がスムーズに行きよう要望していく。	6. 未着手の理由	市民のニーズが高くないため。					
			3	交流事業の推進	1	55311	玉名の歴史、文化、観光などの地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進します。	企画経営課	「まちの保健室 イコイハ」とは熊本県看護協会有明支部、有明保健所、そして本学のピアカウンセリングサークルを運営母体として誕生した。子ども・若者が心身の発達に関する正しい知識を習得し、不安や悩みを相談でき、健やかな自己決定能力を培うことを目的に「性教育」「薬物乱用防止」「金融教育」などに取り組んでいる。	5. 着手	状況の説明	今年度で3年目を向かえる。相談業務も様々な分野に及んでおり、イコイハの活動は盛んである。				
					2	55321	保健師学生の地域看護実習や市保健師の現任教育などを通して互いに連携し、保健師や保健サービスの質向上を図ります。	保健予防課	保健師学生の地域看護実習及び現任教育等の研修会等を通し、保健師スキル向上と保健事業のあり方や方向性を見直し検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	九州看護福祉大学学生実習を受け入れ教諭や学生と意見交換を行った。				
						55322	行政と九州看護福祉大学の連携事業として実施していた健康フェアは、本来の住民への健康・食育に関する啓発の場とするため、今後、内容検討を重ね、より多くの市民に有効な真の健康づくりを図ります。	保健予防課	より多くの市民が参加し、意識を高める健康・食育フェアとするため、内容・場所・啓発方法等検討する。	5. 着手	状況の説明	平成25年2月に保健センター・市民会館エリアで食育フェアを実施。場所としては、市民に身近で好評であったが、年度末にイベントが集中したため参加者が分散する現象があった。				
			6	みんなで進める協働のまちづくり	1	市民協働の推進	1	61111	市民参加や市民協働の推進に関する指針や条例などの制定を検討します。	企画経営課	市民参加や市民協働を推進するための条例等を整備し、実現に向けた施策展開を図る。	6. 未着手の理由	未着手の理由	係業務の遂行上、着手する段階にいたっていない。		
								61112	市民の市政に対する意見や要望を把握するため、市長との意見交換を行う場の確保を図ります。	秘書課	市長との意見交換の場を設け、単年度ごとに計画し、実施を検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成22年度から毎年実施している「市長と語る座談会」において、各行政区などのからの開催要望が年々減少している。		
							2	61121	地域自治区を単位として地域協議会などを通じて協働のまちづくりを目指します。	企画経営課	協働のまちづくりの「よりどころ」となる指針等を策定し、実現に向けた施策展開を図る。	5. 着手	状況の説明	H19年度に協働のまちづくりの基礎となる校区コミュニティ協議会設置に関する調査研究を実施した。		
							2	市民公益活動の支援	1	61211	新たな公共を担うNPOやボランティア団体などの市民公益活動を応援するため、「市民活動情報サイト『たまりん』」の活用を促進します。	企画経営課	「たまりん」の活用を促すとともに、各団体による情報発信件数を150件/年以上とする。また、「たまりん」へアクセスした件数は15000件/年以上を目標にする。	5. 着手	状況の説明	H23年11月から一部リニューアルを行った。H24年度の情報発信件数は219件、アクセス件数は9,976件である。
									61212	市民公益活動を応援するため、助成金制度の創設や公共施設のスペースを活用した市民活動センターの設置などの支援を検討します。	企画経営課	市民活動団体の意向を把握した上で、市民活動支援の拠点を設置する。	5. 着手	状況の説明	庁舎跡地検討委員会に対し、岱明庁舎跡地での設置を提案した。	
									2	61221	玉名21の星事業も含め、コミュニティ活動、地域づくり活動に対する支援のあり方を検討します。	企画経営課	玉名21の星事業の事業主体である各校区のまちづくり委員会も含めた市民活動団体について、市民福祉の向上に資する分野を中心に財政的支援制度の創設を検討する。	6. 未着手の理由	未着手の理由	玉名21の星事業のH25年度助成申請後、まちづくり委員会を含む各種団体へのヒアリング等を皮切りに制度設計に着手する予定。
							61222	地域内住民と関係団体がともに活動する「校区コミュニティ協議会(仮称)」を設置についても検討します。	企画経営課	「校区コミュニティ協議会」設置に向けて、市役所内の関係課と協議調整を行う。	5. 着手	状況の説明	H19年度に協働のまちづくりの基礎となる校区コミュニティ協議会設置に関する調査研究を実施した。			
							61223	コミュニティづくりの拠点づくりとして既存施設の活用を推進します。	企画経営課	市民活動団体の意向を把握した上で、市民活動支援の拠点を設置する方向で検討を進める際には、既存施設の活用を優先する。	5. 着手	状況の説明	庁舎跡地検討委員会に対し、岱明庁舎跡地での設置を提案した。			
		3					61231	薬草に関する情報発信や普及活動を積極的に実施する市民団体を支援します。	企画経営課	小岱山薬草の会をはじめ、上古閑宝探し委員会等の薬草を活用した地域づくりを支援することで、商品開発等を促進し、独自性ある情報を全国に発信する。	5. 着手	状況の説明	小岱山薬草の会定例会等の参加などを通じて情報の共有を図っている。行政イベントや広報紙面、公民館講座等を通じて住民への薬草の普及や市内内外の情報発信を実施。			
2	人権啓発の推進	1					人権啓発活動の充実	1	62111	地域や学校、家庭、職場などあらゆる分野において、各組織と協働し、人権啓発の推進に努めます。	人権啓発課	毎年、市内の小学校を中心に法務局、人権擁護委員と連携し、「人権の花運動」を実施している。	1. 達成(完了)	状況の説明	市内の小学校に人権の花の種を育ててもらい秋に風船につけて子どもたちのメッセージをつけて飛ばす。	
			62112	国、県や人権擁護委員など関係機関との連携を強化し、『玉名市人権教育・啓発基本計画』の推進と迅速且つ的確な対応ができるような相談体制の充実を図ります。	人権啓発課	法務局と平日頃から相談体制ができるように連携をとっているとともに、人権擁護委員についても、街頭啓発や特設人権相談において連携をとっている。		1. 達成(完了)	状況の説明	人権問題が発生した場合、その事案解決に向けて関係機関に連絡をしている。						
			62121	人権教育と啓発活動の充実を目指して、市の広報紙やホームページなどを通じた啓発に努めます。	人権啓発課	市のホームページに各人権課題に即した構成をして掲載したり、人権問題解決のための内容を広報紙に掲載している。		2. 概ね達成	状況の説明	ホームページにおいては、都度時代の流れに即した人権問題と啓発を掲載						

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細節) ※網掛けは、重点施策	施策区分 番号	施策地	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 未現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
									項目	内容
			3	62131	人権問題への積極的な関心や態度、的確な技能などが日常生活の中で実践できるような啓発を推進します。	人権啓発課	企業や地域が実践できるような情報の提供を行い啓発に努める	9. その他	その他 人権問題が何で解決したとの指標がない	
			4	62141	毎年12月4日～10日までの「人権週間」の期間中においては、より一層市民への啓発を図ります。	人権啓発課	人権週間期間中の1日間、市内の要所において街頭啓発を行なう。また、期間中啓発用の横断幕を設置	1. 達成(完了)	状況の説明 毎年市内の5箇所程度を選定し、街頭啓発を実施	
	3 男女共同参画社会の推進	1 男女共同参画社会の形成	1	63111	男女共同参画社会推進事業に関わる研修、相談業務、交流活動をはじめ、専門性の高い学習機会を提供します。	人権啓発課	具体的な施策を想定することができない。	8. 評価不能	評価不能の理由 具体的な施策を想定することができない。毎年、必要に応じた相談業務や交流活動を実施。	
			2	63121	各種審議会などへの女性委員の登用を推進し、毎年女性登用状況調査と結果を公表します。	人権啓発課	平成24年度末に策定した、「第2次玉名市男女共同参画計画」の中で、平成29年度末までに女性委員の登用35%を目指すこととしている。	1. 達成(完了)	状況の説明 各種審議会などへの女性委員の登用推進を図っている。結果は毎年、ホームページ等にて公表している。	
			3	63131	『玉名市女性人材リスト』の作成と積極的活用を図ります。	人権啓発課	玉名市に在住する女性の人材の発掘と各種審議会等への人材情報の提供を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 平成24年7月に「玉名市女性人材リスト」登録者の任期が終了し、登録者の入れ替えがあった。特に学術分野での登録者が増加した。	
				63132	玉名市男女共同参画審議会、玉名市男女共同参画社会行政推進委員会により、男女共同参画社会の形成に向けた総合的企画と効果的な施策を推進します。	人権啓発課	玉名市男女共同参画審議会により、男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的・総合的な施策などを調査審議し、玉名市男女共同参画社会行政推進委員会により、施策を総合的・効果的に企画し推進する。	8. 評価不能	評価不能の理由 総合的企画と効果的な施策であるかどうかの評価は困難。	
			4	63141	平成24年度に『第2次玉名市男女共同参画計画』を策定します。	人権啓発課	平成24年度に『第2次玉名市男女共同参画計画』を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成24年度末「第2次玉名市男女共同参画計画」を策定した。	
			5	63151	「男女共同参画宣言都市」として周知することで、今後の更なる施策の推進を促し、男女共同参画社会の実現に向けた機運を醸成させます。	人権啓発課	男女共同参画社会の実現に向けた機運を醸成させるため、「男女共同参画宣言都市」を周知し、今後の更なる施策の推進を促す。	6. 未着手の理由	未着手の理由 本市の男女共同参画社会実現に向けた機運が未だ高まっていないため。	
				63152	(男女共同参画社会づくりについて。)講演会や講座や広報紙などを活用した啓発活動を実施することで、広く市民への理解を得られるよう努めます。	人権啓発課	引き続き、講演会、講座、広報紙などによる啓発を実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由 講演会、講座、広報紙などによる啓発は実施しているが、市民への理解が得られているかどうかの評価は困難。	
		2 男女共同参画センターの開設	1	63211	男女共同参画社会推進のための機能的な拠点施設を確保します。(男女共同参画センターの開設を除く。)	人権啓発課	現時点において具体的な目標はないが、今後期間内に詳細な検討を行なう	9. その他	その他 現状では具体的な拠点施設を設置するかどうか未定。	
				63212	男女共同参画センターの開設を目指します。	人権啓発課	平成29年度末までに男女共同参画センターを開設する。	6. 未着手の理由	未着手の理由 センター機能のあり方についての論議が十分でないため。	
	4 情報公開の推進	1 情報公開の充実	1	64111	インターネットによる議会映像の放映を推進します。	議会事務局	インターネットによる議会映像の放映を実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明 インターネットによる議会映像の放映を実施している。今後は、新庁舎の設備も勘案した上で、本会議だけでなく委員会の放映も検討する。	
			2	64121	情報公開請求には素早い対応を図ります。	総務課	公文書が容易に把握できるような仕組みを構築する。また、情報公開事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	5. 着手	状況の説明 新規採用職員を対象とした研修を実施する。	
			3	64131	議事検索システムの構築により、事務の効率化を図ります。	議会事務局	議事検索システムの構築により、事務の効率化を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明 議事検索システムの構築により、事務の効率化を図った。検索がよりの確に、スムーズに行なえるよう、議事の文言整理を進める。	
		2 個人情報保護対策の強化	1	64211	個人情報の収集や利用にあたっては、利用目的を明確に説明するとともに、原則として、本人からの事前の同意を得ることとします。	市民課	個人情報については、住民票・戸籍の発行や住民異動などは原則として本人申請。来庁が不可能な場合には本人からの委任状の提出を求めている。また、委任状による代理人の確認も常におこなっている。	1. 達成(完了)	状況の説明 取り扱いについては、職員、非常勤職員ともに十分に理解し事務をおこなっている。	
			2	64221	個人情報保護を更に推進するために、適切な取り扱いを徹底し、個人情報保護意識を強化します。	総務課	個人情報保護事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	5. 着手	状況の説明 新規採用職員を対象とした研修を実施する。	



基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細目) ※網掛けは、重点施策	施策区分 (細目)	施策区分 (細目)	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)						
									項目	内容					
3	行政情報 発信の充 実	1	1	64311	広報紙は、行政情報だけではなく地域の話題なども盛り込むように努め、市の情報発信力を高めます。	秘書課	毎月2回、1日と15日号の広報紙を発行し、行政情報を、市民に確実に伝達方法として、わかりやすい、工夫を凝らした広報紙を発行する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	毎月2回、1日と15日号の広報紙を全世帯に配布。					
				64321	ホームページは、効果的かつ利便性を重視した情報発信を推進します。	秘書課	総務省のホームページのガイドラインをふまつつつ、さらに工夫をこらし、ホームページへの100万アクセス数を超えるよう努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	毎年100万アクセスを超えている。写真などのコンテンツを増やしたことにより、見やすいホームページに変更した。前年よりアクセス数も増加。					
				64322	記事を作成する職員の意識と技術の向上に努めます。	秘書課	ホームページの記事作成に関する基礎研修などを、毎年、ホームページ委託業者を講師に迎え、関係職員の研修を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	基礎研修を行った上で、市の広報職員が講師として記事作成における応用研修も行った。					
	5	行政運営 の効率 化	1	1	65111	自主財源の一層の確保を図り、行政評価制度と予算編成を連動させることにより予算の適正な執行と事務事業の見直しを実施します。	財政課	計画期間中(H24~H28年度)財政構造の改善を行い、財政健全化を推進する。 【数値目標の設定】 経常収支比率:各年度90%以下	4. 進行中 (前半)	状況の説明	市有財産の売却等による自主財源の確保、高利市債の繰上償還による公債費の削減や事務事業の見直しによる経常経費の削減を実施中 経常収支比率:H24年度は現時点では不明(参考)H23年度 89.2%				
					65112	中長期的な展望に立った施策の推進に取り組み健全な財政の運営を図ります。	財政課	計画期間中(H24~H28年度)長期財政見通しを作成し、普通建設事業の計画的な実施など中長期的な展望に立った財政運営を行う。 【目標の設定】 長期財政見通しの作成:各年度更新	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成24年11月に長期財政見通しを更新し、中長期的な展望に立った財政運営を行っている。				
					65113	基金を計画的に運用し健全な財政の運営を図ります。	財政課	計画期間中(H24~H28年度)基金の計画的な運用を行い、財政健全化を推進する。 【数値目標の設定】 財政調整用基金残高が標準財政規模に占める割合:各年度20%以上	4. 進行中 (前半)	状況の説明	将来の財源不足に対応するため、取崩し額を最小限に抑えるとともに、可能な限り積立を行うなど計画的な運用を図っている。 財政調整用基金残高が標準財政規模に占める割合:H24年度 30.7%				
		2	行政経営 の推進	1	1	65211	総合支所から支所への移行を検討し、住民にわかりやすい本庁と支所組織の機能のあり方を検証します。	企画経営課	24年10月に総合支所から支所に移行し、従前の行政サービスの水準が低下しない機能性や効率性等の面を十分に検討した組織へと再編する。また本庁と支所間の所掌事務の適切な分掌を行なうとともに、第2次定員適正化計画で定める職員の削減数を着実に達成する。	2. 概ね達成	状況の説明	地域協議会や議会等への支所移行に関する説明を行なった結果、一定の理解を得ることができた。本庁と支所間の事務分掌についても、一部には民間活力の導入や職員の追加配置等により、適切に対処できたものの、一部にはまだ検討の余地がある支所の所掌事務も見られる。			
						65221	行政評価の効果的な活用のため、事務事業の成果を客観的に検証することにより経営意識の向上を図ります。	企画経営課	昨年度の試行運用を経て24年度から本格運用し、評価の対象とされる全ての事務事業については、事後評価を実施する。事前評価については、従前のおり、事業費下限額を上回る全ての事務事業を対象に実施する。更に職員の経営意識を向上するために、市民意識調査等の外部評価の導入を検討する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	事後評価が324事務事業、事前評価が41事務事業(細事業)を対象に実施したが、一部には、評価表が作成されず事業立案や予算要求が行なわれているのが見られた。市民が考える行政活動の重要度と満足度について、アンケート形式で評価する市民意識調査事業を25年度から隔年で取り組むこととした。			
					3	職員の計 画的 人事 配置と 育成	1	1	65231	職員は、採用後の一定期間に幅広く各行政分野を経験させます。	人事課	計画期間中も、これまで同様、入庁後ある程度の期間までは、基本的に3年を一つのサイクルとして人事異動を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	概ね3年を目途に人事異動を行っている。
									65232	県などとの人事交流を進めるなど計画的な人事配置や人材育成を実施します。	人事課	他の自治体や団体への派遣や人事交流を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	人事交流や派遣は毎年コンスタントに行っている。
								4	65241	電子入札の導入に取り組みます。	契約検査課	平成26年4月までに導入予定である。	6. 未着手	未着手の理由	他市での導入が進んでいないため。
									65242	価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式の実施に努めます。	契約検査課	対象案件がある場合適宜実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由	平成24年度実績がないため。
3	職員の計 画的 人事 配置と 育成	1	2	65311	合併後の10年間は、退職者数の3分の1を新規採用しながら、定員の適正化を図ります。	人事課	平成28年4月までは、退職者数の3分の1を新規採用する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成25年4月1日現在、職員数は538人(再任用・任期付職員を除く。)であり、定員適正化計画(544人)以上の進捗状況である。					
				65321	『人材育成基本方針』に基づき、引き続き職員の能力開発を積極的に推進します。	人事課	職場内研修の推進と職場外研修の充実を図り、自己啓発への支援を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成24年度から職場外研修を充実させており、結果として間接的に職場内研修の推進や自己啓発の意欲向上に繋げている。					
				65322	人事評価の結果を適材適所の人事配置や公正な処遇につなげることで、職員の意欲向上と個々の能力・組織力の向上を図ります。	人事課	人事評価の結果を職員の公正な処遇や意欲向上に繋げるために、結果の活用方法について引き続き検討する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	人事評価は24年度からの本格実施に伴い、昇任の要件として反映させることになっている。					
				65323	住民ニーズ、政策課題、職員構成などの変化に柔軟に対応するため、適宜、効果的職員研修を実施します。	人事課	階層別の基礎研修や選択研修など、今後も研修全般に注力し、内容の充実を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	研修事業は新任研修を熊本市町村職員研修協議会に委ね、当市では現任研修を行うこととしたため、平成24年度から飛躍的に対象者数を増加させている。					

基本目標 (章)	主要施策 (節)	施策区分 (細目) ※網掛けは、 重点施策	施策種別 (種別)	施策施設	「主要施策の概要」の要旨 (細々々節) (最も細分した施策の要旨)	主たる 担当課	計画期間の具体的な目標 (H28年度末までに実施する目標や事柄)	計画期間 に係る 進捗状況 (H24年度 末現在)	進捗状況の説明 (H24年度末の実績、未着手・計画中止等の理由)	
									項目	内容
		4 行政施設の 整備と 有効活用	1 行政施設	65411	財政的に有利な合併特例債の適用期限である平成27年度までの完成を目的に新庁舎の建設を推進します。	管財課	H25年度においては、庁舎本体の建築工事に着手するとともに、敷地の造成工事を行う。H26年度は、12月までに本体工事・外構工事を完了し、H27年1月の新庁舎での移転開庁を行う。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	庁舎建設用地の農振区域除外、農地転用・開発行為の許可を得るとともに用地の買収が完了した。また、H26年4月からの消費税増税の適用による事業費増加を最小限に抑えるため、計画を前倒しし、H25年1月から造成工事を開始した。
				65412	本庁舎の跡地は、これまでの検討結果を参考にし、有効な利活用策を検討します。	企画経営課	関係部署職員で構成する庁内検討組織を24年度中に設置し、約1年の検討期間を設け、効率的、効果的で実効性が高い利活用策を市長に提案する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	庁内9課の職員で構成する検討プロジェクトチームを設置し、計3回の検討会議を開催し、計4案の利活用策について、様々な観点からの評価を行ない、それぞれに評価点と整備優先順位を付し、市長に中間の報告を行なった。今後は5回程度の会議を行い、25年11月を期限とし最終的な利活用策を提案する。
				65421	各総合支所は、市民サークルやボランティア団体などが実施する事業の拠点施設として提供するなど、有効利用を図ります。	管財課	既存及び新庁舎完成によって生じる支所庁舎の余裕スペースは、公共施設の機能集約をはじめ公共的団体の活動拠点として提供するなど利活用を進め、維持費の軽減や自主財源の確保を図る。具体的には、岱明支所の空きスペースについて、新庁舎への機能移転(H27年1月)後、速やかに着手できるように調整する。	5. 着手	状況の説明	H24年11月、現庁舎跡地等利活用検討プロジェクトチーム(主管:企画経営課)を立ち上げ、検討を開始した。検討を進める過程において先行し、岱明支所1階の旧保健室(19㎡)を、玉名地区保護司会(更生保護サポートセンター:H25年4月～)へ貸付するよう決定した。
				65431	『公共施設マネジメント白書』を作成します。	企画経営課	用途毎に分類した市保有の公共施設(約120施設)を対象に、各施設に関する実態を分析、評価し、課題や問題等を白書として、平成23年度末までに整理する。この白書を24年度に策定予定の適正配置計画の基礎資料として活用する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	124施設を20用途に分類し、施設の配置状況、管理運営状況、利用状況等に関する実態把握を行なった。また、市の将来人口予測、今後の更新コストの試算、自治区別の実態等についても把握し、マネジメント白書において、様々な課題や問題等を整理した。
				65432	平成24年度までに『公共施設配置計画』を策定し、適正な配置と整備を推進します。	企画経営課	今後の公共施設の適正配置を考えていく上での基本的な方向性についての検討組織である検討委員会を設置し、市に建議される内容を十分に踏まえた適正配置計画を24年度末までに策定する。	9. その他	その他	地域や団体等代表者や有識者等の15名で構成する検討委員会により、今後のマネジメントの必要性等が市に建議されたことを受け、将来的なマネジメント方針や削減目標等を設定した適正配置計画を策定した。この方針等をもとに翌年度から策定する長期保全・整備計画に沿い、これからは実際の改善行動に移る。